

消防年報

(第37号)

平成25年版



大隅曾於地区消防組合 消防本部
平成26年刊行

はじめに

消防年報（平成 25 年度版）をここに刊行いたします。

本書は、大隅曾於地区消防組合（曾於市・志布志市・曾於郡大崎町）の消防現況及び消防業務に関する事項を収録し、消防行政の合理的な運営と管内住民の皆様には消防事情を紹介するために編集したものです。

なお、この消防年報の統計資料は、火災・救助・救急等に関する事項については暦年（1月から12月）で、予算及び予防業務に関する事項については年度中（4月から3月）で表し、それ以外のものについては該当表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

平成 26 年 7 月

大隅曾於地区消防組合

大隅曾於地区消防組合

組
合
訓

一 郷土を愛し奉仕する心

一 和で築く明るい職場

一 創造し躍進する消防

大隅曾於地区消防組合総合整備計画の変遷

[平成20年10月1日～平成26年3月31日]

年月日	経過及び概要
平成20年 11月25日	<p>平成20年第2回消防組合議会定例会〔整備計画変更〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北部消防署及び南部消防署並びに消防団及び自主防災組織を含む当地区消防の防災拠点について、再検討・再構築する。 2 住民の皆様のさらなる安全・安心を達成するため、救急分駐隊を2隊配置し、救急車現場到着時間の効果的改善を目指す。
平成20年 12月26日	<p>構成市町首長会議〔救急業務3拠点から5拠点へ〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 分駐隊については、運用開始を平成22年度に1年前倒しするとともに、平成21年度においても、でき得る範囲で試行という形で運用する。 2 分駐隊運用に必要な人的警防力の確保については、平成23年度の特例定数110人を平成22年度に前倒しし、平成21年2月の議会定例会へ定数条例改正を上程する。
平成21年 2月10日	<p>平成21年第1回消防組合議会定例会〔職員定数条例改正〕</p> <p>末吉救急分駐隊及び大崎救急分駐隊配置に対応するため、職員定数「101人」を「110人」に改める。併せて定数特例条例は、廃止する。</p>
平成21年 4月14日	<p>末吉中央公民館にて試行運用開始式</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>南日本新聞掲載 平成21年4月15日 水曜日</p> </div>
平成21年 8月11日	<p>平成21年第1回消防組合議会臨時会</p> <p>末吉救急分駐隊試行運用検証結果を踏まえ、メリットを活かし、デメリットを解消するために、新たに両消防署における救急隊2隊配置について、前向きな検討が提言され、今後、消防組合において早急に構成市町と十分協議することとなる。</p>

年 月 日 経 過 及 び 概 要

平成 21 年 11 月 20 日 南部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車更新事業（水-Ⅱ型）




平成 22 年 2 月 25 日 平成 22 年第 1 回消防組合議会定例会〔整備計画変更，職員定数条例改正〕
平成 23 年度からの両消防署における救急隊 2 隊配置（5 救急隊から 7 救急隊）に伴い、職員定数「110 人」を「119 人」に改める。

平成 22 年 4 月 1 日 大崎救急分駐所落成式並びに開所式




所在地 曾於郡大崎町井俣 2442 番地 4
構造 木造平屋建て
敷地面積 1,146.00m²
建築面積 175.24m²
延床面積 166.75m²






広報おおさき掲載




▲配置された高規格救急車
ウミガメのロゴマークも！

年月日	経過及び概要
平成22年 11月4日	<p>平成22年第2回消防組合議会定例会〔整備計画変更〕</p> <p>平成24年度から平成27年度までの車両更新事業の追加及び消防救急無線デジタル化整備事業を高機能消防指令センター総合整備事業と分離して単独の整備事業とする。</p>
平成23年 2月21日	<p>北部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車更新事業（水-Ⅱ型） CAFS（圧縮空気発泡装置）搭載</p>   
平成23年 11月24日	<p>平成23年第2回消防組合議会定例会〔整備計画変更〕</p> <p>消防本部庁舎建設事業を平成25年度とし、消防救急無線デジタル化整備事業及び消防緊急通信指令施設再部分更新事業を1年繰り上げ、平成26年度事業とする。</p> <p>また、救急自動車及び水槽付消防ポンプ自動車更新事業を1年繰り下げ、平成27年度事業とする。</p>
平成24年 2月22日	<p>平成24年第1回消防組合議会定例会〔条例の一部改正〕</p> <p>大隅曾於地区消防組合消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例の制定 北部消防署及び南部消防署の移転新築に伴い、名称を「北部消防署」を「曾於消防署」に「南部消防署」を「志布志消防署」に改める。</p>
平成24年 3月9日	<p>北部消防署及び南部消防署高規格救急車導入事業（従来型更新）</p> <p>7救急隊全てにおいて、高規格救急車による高度救急体制が整備される。</p>   
平成24年 3月31日	<p>平成24年3月31日現在の北部消防署及び南部消防署庁舎</p>   <p style="text-align: center;">消防本部及び北部消防署 南部消防署</p>

年月日

経過及び概要

平成24年
4月2日

曾於消防署開署式



所在地 曾於市大隅町岩川 5950 番地

敷地面積 8,505.08 m²

建物概要

庁舎：鉄筋コンクリート造 2階建て

1階面積 834.81 m²

2階面積 435.02 m²

延べ面積 1,269.83 m²

訓練塔：鉄骨造 2階建て

延べ面積 169.82 m²

施設内容

1階 玄関ホール、署長室、署事務室、ロッカー室、湯沸室、相談室、車庫、出動準備室、救急資材庫、救急滅菌室、シャワー室、書庫、発電機室、仮眠室、非常時仮眠室、洗面所、便所（男、女、多目的）

2階 大会議室、仮眠室、予備仮眠室、洗面所、浴室、収納庫、食堂、台所、便所（男、女）

その他 訓練塔、耐震性貯水槽、掲揚台、掲示板



2012年(平成24年)4月4日 水曜日



南日本新聞掲載
平成24年4月4日 水曜日



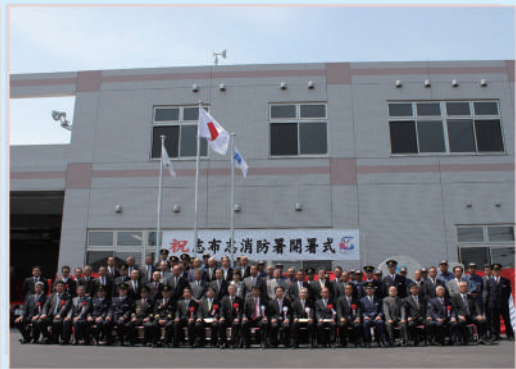
北後、南後(志布志)へは消防署移転後、10年以上と経過した志布志消防署も運用していた同消防署平均の8分を下回り、強化が見込まれている。

年月日

経過及び概要

平成 24 年
4 月 24 日

志布志消防署開署式



所在地 志布志市志布志町志布志 428 番地 2

敷地面積 10,699.98 m²

建物概要

庁舎：鉄筋コンクリート造 2階建て

1階面積 1,154.34 m²

2階面積 451.27 m²

延べ面積 1,605.61 m²

訓練塔：鉄筋コンクリート造 4階建て

延べ面積 260.00 m²

施設内容

1階 玄関ホール、署長室、署事務室、受付室、ロッカールーム、湯沸室、車庫、出動準備室、消防救助資器材庫、除染室、救急資器材庫、救急減菌室、潜水機材庫、倉庫、書庫、発電機室、仮眠室、非常時仮眠室、洗面所、便所（男、女、多目的）、燃料庫

2階 多目的ホール（研修室）、洗濯室、物干場、洗面所、倉庫、浴室、救急指導室（相談室）、食堂、厨房、便所（男、女）

その他 訓練塔、潜水訓練兼用防火水槽、ヘリポート、クライミングウォール、監視カメラ設備、掲揚台



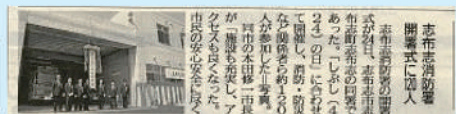
志布志市志布志町志布志 志布志消防署
日本一志あふれる消防署

こころに誓う 我らの使命
ここのふる里と 人守り抜く
胡々唱和 消防署訓
挫折生かして 更なる前進
真摯な姿勢 我らの誇り
伸ばす操法 たゆまぬ訓練
真心尽くせば 信頼生まる
力合わせて 目指せ消防日本一



南日本新聞掲載
平成 24 年 4 月 16 日 月曜日

南日本新聞掲載
平成 24 年 4 月 27 日 金曜日



年月日	経過及び概要
-----	--------

平成 24 年
5 月 25 日

志布志消防署ヘリポート運用開始式
県内初ヘリポート併設 (25m×25m)



南日本新聞掲載
平成 24 年 6 月 4 日 月曜日

当地区においては高齢化の急激な進展により、住民の皆様から最も求められる救急業務について、さらなる充実、向上を目指すことが最優先事項であるとの認識から、住民の皆様の安心・安全を確保するための「命の地域間格差」を解消すべく、平成 22 年 4 月 1 日に末吉救急分駐所及び大崎救急分駐所を曾於市及び大崎町がそれぞれ事業主体として新設していただき、従来の 2 署、1 分署の 3 拠点から 2 署、1 分署、2 救急分駐所の 5 拠点となりました。

さらに、現在の北部消防署を曾於消防署、同じく南部消防署を志布志消防署と名称変更し、当地区の防災業務を担う拠点施設としての庁舎移転事業について、平成 20 年第 2 回消防組合議会定例会（平成 20 年 11 月 25 日開催）で議決をいただき、曾於市、志布志市がそれぞれ事業主体として建設していただくことが決定いたしました。

これにより、平成 23 年度には曾於消防署及び志布志消防署の建設が着工され、平成 24 年度からの運用が開始されることとなりました。両消防署は、昭和 53 年建築であり、老朽化が顕著で耐震基準等の問題があるとともに、最近の交通アクセスの発展及び変化が発生していることから、両救急分駐所新設と同様、管内各地区へのレスポンスタイム改善を目指すための位置に移転新築となりました。これに併せて、5 拠点 7 救急隊体制とすることで、管内一円をくまなくカバーできる体制が整いレスポンスタイム（通報から現場到着までの所要時間）が大幅に短縮されることとなります。

また、現在の消防組合総合整備計画は、平成 23 年第 2 回議会定例会（平成 23 年 11 月 24 日開催）で議決をいただいた計画が進行中であり、消防本部庁舎建設事業についても、曾於消防署に併設する形で平成 25 年度事業として決定しているところであります。

年月日	経過及び概要
平成24年 9月2日	<p>曾於地区防災訓練（志布志市有明町） 南海トラフ地震発生による津波避難訓練</p> 
10月29日	<p>消防本部指揮車が導入される。 トヨタレジアス 2,700CC</p> 
11月4日	<p>親子ふれあいフェスティバル(志布志消防署) BFC 少年消防クラブとプラスバンドの参加があり、晴天の下盛大に開催されました。</p> 
11月9日	<p>防災講座(曾於署) 日本防災協会による専門講座で 大勢の一般受講者の参加がありました。</p> 

年月日	経過及び概要	
平成 25 年 6 月 13 日	<p>消防本部庁舎建設事業</p> <p>消防本部庁舎建築工事安全祈願祭</p> <p>設計監理者：(有) 永吉建築設計事務所</p> <p>施行者：(株) 渡辺組, 九州電通建設 (株)</p> <p>カネダ設備ガス (株), (株) 川原田工務店</p> <p>庁舎概要：用途 消防本部庁舎 (延べ面積：546.17 m²)</p> <p>階数 2階 構造 RC造</p> <p>1階 本部事務所・消防長室ほか (279.61 m²)</p> <p>2階 通信指令室・通信機械室・災害対策室 休憩・仮眠室 (266.56 m²)</p>	
11 月 27 日 ～ 11 月 28 日	<p>緊急消防援助隊九州ブロック訓練 (沖縄県)</p>  <p>救助隊 5 名, 後方支援隊 2 名 (曾於署救助工作車・本部指揮車) 参加</p>	
12 月 3 日	<p>職員教養</p> <p>鹿児島弁検定実行委員会大隅支部 (10 名)</p> <p>「劇団：だっきしょ」による寸劇, 小野辰男様による鹿児島弁卓話</p> 	
平成 26 年 3 月 28 日	<p>本部庁舎・通信指令施設・無線デジタル化運用開始式</p>  <p>平成 25 年度事業 (本部庁舎建設・消防救急無線デジタル化整備・消防緊急通信指令施設再部分更新) の三事業を完了し, 構成市町長をはじめ関係各位を御招きし, 運用開始式を行いました。</p> <p>この三事業は, 消防本部庁舎建設に併せ消防救急無線デジタル化整備事業及び消防緊急通信指令施設再部分更新事業を同時に行うことで, 費用の削減を図り各事業の施工工程を年度内完成するため, 平成 24 年 11 月 12 日開催された組合議会定例会 (第 2 回) で総合整備計画年度別施設計画の変更が可決され実施されたものです。</p>	

目 次

総 括

1. 位置及び概況	1
2. 人口・世帯数及び面積	1
3. 消防組合の地域図	2～3
4. 消防組合の沿革	4～9
5. 消防組合の組織	10

消防組合の現況

1. 消防組合の事務分掌	11～12
2. 消防職員	13～16
3. 消防機械	17～18
4. 通信施設	19～22
5. 消防財政	23～25

予 防 業 務

1. 防火対象物・査察等	26～27
2. 建築確認同意事務	28
3. 防火管理について	29～31
4. 危険物関係事務	32～33
5. 広報	34～36
6. 消防協力団体等	37～38

火 災 状 況

1. 火災の概況	39～43
2. 火災の原因	44
3. 火災発生状況比較(出火率)	44
4. 気象概況	45～46

救 助 状 況

1. 救助の概況	47
----------------	----

救 急 状 況

1. 月別救急出場件数	48
2. 事故種別搬送人員	49
3. 年齢別搬送人員	49
4. 市町別救急出場状況	50
5. 救急覚知状況	51
6. 傷病の程度	51
7. 収容所要時間状況	52
8. 曜日別出場状況	53
9. 急病の疾病別搬送人員	53
10. 発生時刻別出場状況	54
11. 収容先医療機関の所在地調べ	55
12. 電話転送回数状況	56
13. 転送者に関する調べ	56
14. 普通救命講習受講者調べ	57

消 防 団

1. 管内消防団現勢	58～60
2. 消防団員の年齢及び在職年数	61
3. 消防団員の報酬及び費用弁償	62
4. 消防水利	62
5. 消防団支援状況	62

総 括

1. 位 置 及 び 概 況
2. 人 口・世 帯 数 及 び 面 積
3. 消 防 組 合 の 地 域 図
4. 消 防 組 合 の 沿 革
5. 消 防 組 合 の 組 織



1. 位置及び概況

大隅曾於地区消防組合は、鹿児島県大隅半島の東部に位置し、東は宮崎県、西は大隅肝属地区消防組合及び霧島市消防局に隣接し、南には志布志湾をひかえ、北は霧島連山につながる781平方キロメートル、南北40キロメートル、東西32キロメートルにおよぶ地域であります。

中央部に国道269号線が南北に走り、南部の海岸線沿いに国道220号線、北部の財部、末吉境に国道10号線が東西にのびており、また、東九州自動車道末吉財部インターが平成14年3月に、曾於弥五郎インターが平成22年3月に供用開始されております。

管轄区域は、曾於市、志布志市及び曾於郡大崎町の2市1町で構成され、人口おおむね9万人、4万1千世帯にのびます。なお肥沃な土地を利用して、米作り・畜産・園芸などの農業経営が盛んに行われています。

今後、東九州自動車道や志布志湾の整備により、南に面した玄関口、南九州の物流拠点基地として、ますます発展していくものと期待されています。

さらに、当地域の各構成市町には、海、山、川の豊かな自然を活かしたキャンプ場や温泉施設等が整備され、交流と安らぎを与える場所となっています。

2. 人口・世帯数及び面積

(平成26年3月31日現在)

署所区分 (救急出場対応)	構成市町	人口(人)	世帯数	面積 (km ²)	人口密度 (1km ² 当)
曾於消防署	曾於市大隅町	11,028	5,431	145.58	76
	志布志市松山町	4,355	1,994	49.81	87
財部分署	曾於市財部町	9,120	4,356	115.72	79
末吉救急分駐所	曾於市末吉町	18,816	8,770	129.09	146
志布志消防署	志布志市志布志町	17,507	8,615	142.15	123
	志布志市有明町	11,370	5,167	98.05	116
大崎救急分駐所	曾於郡大崎町	14,190	6,952	100.82	141
合 計		86,386	41,285	781.22	111

※1 曾於消防署は、曾於市末吉町及び志布志市有明町の一部を含む。

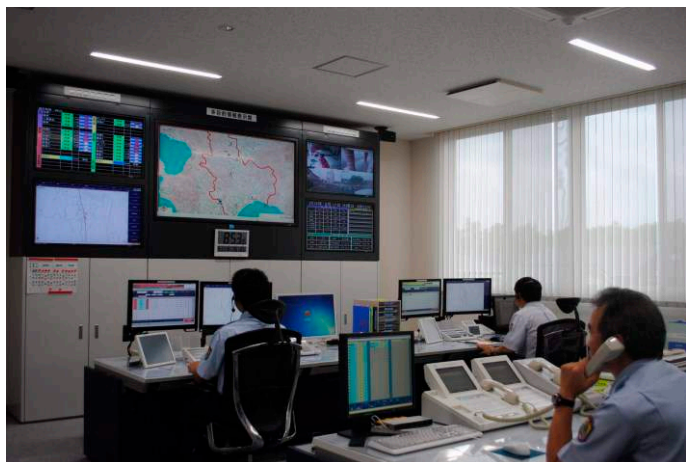
財部分署は、曾於市末吉町の一部を含む。

志布志消防署は、志布志市松山町の一部を含む。

大崎救急分駐所は、志布志市有明町の一部を含む。

※2 火災、救助、その他出動については、上記の限りでない。

3. 消防組合



消防本部

〒 899-8102

鹿児島県曾於市大隅町岩川 5950

通信指令室 099(482)0119

FAX 099(482)5712

総務課 099(482)0569

FAX 099(482)2712

警防課 099(482)0579

FAX 099(482)2712

予防課 099(482)5577

FAX 099(482)2712



曾於消防署

〒 899-8102

鹿児島県曾於市大隅町岩川 5950

TEL 099(482)0559

FAX 099(482)0581



財部分署

〒 899-4101

鹿児島県曾於市財部町南俣 529-1

TEL 0986(72)0119

FAX 0986(72)2809



の地域図

末吉救急分駐所

〒 899-8605

鹿児島県曾於市末吉町二之方 1851-2

TEL 0986(76)9119

FAX 0986(76)9119



志布志消防署

〒 899-7103

鹿児島県志布志市志布志町志布志 428-2

TEL 099(472)0119

FAX 099(472)0134



大崎救急分駐所

〒 899-7309

鹿児島県曾於郡大崎町井俣 2442-4

TEL 099(476)0119

FAX 099(476)0119



4. 消防組合の沿革

(1) 消防組合発足までの経過

年 月 日	経 過
昭46. 12. 6	大隅広域市町村圏協議システム議決（域内一本化1署17分署）〔第1案〕
昭50. 1. 24	事務局によるタタキ台を協議（4ブロック編成）〔第2案〕 注 第1ブロック 大隅・輝北・財部・末吉・松山町 第2ブロック 志布志・有明・大崎町 第3ブロック 大根占・根占・田代・佐多町 第4ブロック 鹿屋市外5町
7. 17	第4ブロック長会議（4ブロックを2ブロックに）〔第3案〕
昭51. 1. 12	都城北諸県広域市町村圏協議会と協議（広域消防システム，医療対策）
3. 11	救急医療機関対策について陳情
3. 19	曾於郡医師会長と協議（救急医療機関対策について）
7. 17	大隅広域市町村圏協議会（消防システム決定）
9. 8	大隅曾於地区消防組規約案決定（郡内町長，議長合同会議）
11. 27	社団法人日本自動車工業会から救急車寄贈
12. 26	組合職員採用試験 申込者319名 受験者253名
昭52. 2. 5	消防本部，署義務設置町村の政令指定（内定）について県から通知
4. 1	大隅曾於地区消防組合及び大隅肝属地区消防組合発足

(2) 発足後の経過

年 月 日	経 過
昭52. 4. 1	消防組織法第10条に規定する政令指定（自治省告示第73号） ・大隅曾於地区消防組合発足 ・消防長 時任純一郎氏就任（初代） ・消防吏員採用辞令交付 54名 ・消防本部及び北部消防署の開設 (大隅町商工会横元大隅警察署武道場を事務所として救急隊1隊で業務開始)
4. 3	組合初議会 管理者 盛田政義氏就任（初代）
4. 20	南部消防署の開設（有明町押切の「プレハブ」事務所に救急隊1隊で業務開始）
5. 18	査察広報車2台配備（消防本部及び南部消防署に配備）
7. 19	消防自動車2台配備（北部消防署及び南部消防署）
9. 17	消防庁舎新築工事起工（消防本部，北部消防署及び南部消防署）
9. 27	串木野市から救急車（中古）寄贈
昭53. 1. 10	日本損害保険協会から救急車寄贈
3. 18	消防本部及び両消防署新庁舎移転（南部消防署17日）
3. 27	鹿児島県共済農業協同組合連合会から救急車寄贈
4. 1	財部分署開設（仮庁舎財部町公民館） 輝北分署開設（仮庁舎旧家畜管理所）救急業務開始
4. 20	消防本部，北部消防署及び南部消防署落成式
5. 1	職員8名採用 職員合計62名

年 月 日	経 過
5. 31	本部に指揮車配備
10. 3	財部分署庁舎新築工事起工式
10. 4	輝北分署庁舎新築工事起工式
12. 5	輝北分署及び財部分署庁舎完成
昭54. 2. 3	輝北分署及び財部分署落成式
2. 15	日本損害保険協会から救急車寄贈
2. 27	管理者 桑元善次氏就任（第2代）
3. 31	鹿児島県共済農業協同組合連合会から2台目救急車寄贈 救急車計6台
4. 1	職員2名採用 職員合計64名
5. 9	119移設 南部消防署（有明町含有線放送）
昭55. 3. 25	119移設 南部消防署（志布志町・大崎町）
3. 26	119移設 北部消防署（大隅町・末吉町・松山町）
4. 1	職員2名採用 職員合計66名
8. 27	日本船舶振興会救急車寄贈
12. 9	志布志町（タイヨー号）救急車寄贈
昭56. 2. 25	ミニ車（小型ポンプ積載）財部分署配備
8. 29	ミニ車（小型ポンプ積載）輝北分署配備
昭57. 3. 15	垂水市と消防救急業務相互応援協定締結
3. 18	第9回県組合消防運営協議会開催（本部担当）
4. 1	職員4名採用 職員合計70名
6. 30	消防長 時任純一郎氏退職（初代）
7. 1	消防長 逆瀬川幸雄氏就任（第2代）
8. 1	有明町と消防緊急出動命令協定締結
昭58. 2. 27	管理者 坂口信雄氏就任（第3代）
4. 1	職員2名採用 職員合計72名
昭59. 4. 1	職員2名採用 職員合計74名
11. 20	119移設（輝北町 22日開始）
昭60. 4. 1	職員2名採用 職員合計76名
昭61. 2. 28	南部消防署にポンプ車配備
3. 20	南部消防署にはしご車30m級配備
4. 1	職員2名採用 職員合計78名
昭61. 5. 28	はしご車30m級 入魂式
8. 1	株式会社渡辺組から救急車（渡辺号）寄贈
9. 26	消防庁補助金指揮監査
昭62. 1. 21	管理者 坂口信雄氏死去（第3代）
3. 7	管理者 永野静夫氏就任（第4代）
3. 9	日本損害保険協会から救急車寄贈
4. 1	職員3名採用 職員合計80名
6. 20	日本防火協会から防火広報車寄贈
昭63. 3. 23	北部消防署に救助工作車配備 資機材納品
3. 24	日本自動車工業会から救急車寄贈
3. 31	消防長 逆瀬川幸雄氏退職（第2代）

年 月 日	経 過
昭63. 4. 1	消防長 橋口十七氏就任 (第3代)
平 2. 8. 10	日本消防協会から救急車寄贈
平 4. 4. 1	職員1名採用 職員合計80名
平 5. 4. 1	職員5名採用 職員合計84名
平 6. 3. 31	消防長 橋口十七氏退職 (第3代)
4. 1	消防長 加藤光三郎氏就任 (第4代) 職員5名採用 職員合計89名
5. 25	総合整備計画プロジェクトチーム発足
10. 5	第7期救急救命士研修所入所
12. 21	南部消防署訓練場用地 (2,000㎡) 購入
平 7. 4. 1	職員4名採用 職員合計93名
4. 5	第1期救急救命九州研修所入所
6. 22	株式会社渡辺組から消防本部広報車寄贈
7. 14	総合整備計画調査特別委員会設置
8. 24	第1回総合整備計画調査特別委員会開会
12. 4	総合整備計画議決 (第2回定例会)
平 8. 3. 31	消防長 加藤光三郎氏退職 (第4代)
4. 1	消防長 遠矢三夫氏就任 (第5代)
6. 11	通信プロジェクト先進地研修 (宇佐地域消防組合・大牟田市消防本部)
9. 9	救急・防災総合訓練 (志布志町)
10. 1	消防職員委員会設置
平 9. 1. 10	南部消防署訓練塔完成
3. 31	消防長 遠矢三夫氏退職 (第5代)
4. 1	消防長 八久保絃鳳氏就任 (第6代) 職員4名採用 職員合計96名
5. 13	消防組合発足20周年記念式典開催
9. 9	救急・防災総合訓練 (輝北町)
平10. 3. 10	消防緊急通信指令室完成
3. 31	消防長 八久保絃鳳氏退職 (第6代)
4. 1	消防長 上野淳一氏就任 (第7代) 職員3名採用 職員合計99名
9. 9	救急・防災総合訓練 (松山町)
平11. 2. 15	管理者 桂次雄氏就任 (第5代)
4. 1	消防緊急通信指令室運用開始
4. 1	職員3名採用 職員合計102名
9. 9	救急・防災総合訓練 (大崎町)
平12. 3. 31	消防長 上野淳一氏退職 (第7代)
4. 1	消防長 佐々木良昭氏就任 (第8代) 職員4名採用 職員103名
9. 7	救急・防災総合訓練 (財部町)
平13. 2. 1	南部署に高規格救急車配備 (第1号)
4. 1	職員5名採用 職員合計107名
5. 15	鹿児島県総合防災訓練 (あすばる大崎)
11. 2	組合議会第2回定例会 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀県)
平14. 2. 1	北部署に高規格救急車配備 (第2号)

年 月 日	経	過
平14. 9. 5	曾於地区総合防災訓練 (末吉町)	
11. 6	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (鹿児島県)	
平15. 3. 31	消防長 佐々木良昭氏退職 (第8代)	
4. 1	消防長 重田嘉康氏就任 (第9代)	
9. 4	曾於地区総合防災訓練 (有明町)	
9. 30	3本部消防合同訓練 (大隅肝属・垂水市・大隅曾於)	
10. 8	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (宮崎県)	
平16. 1. 1	グループウェア・救急統計システム運用開始	
2. 1	財部分署に高規格救急車配備 (第3号)	
4. 1	職員1名採用 職員合計107名	
4. 13	第56期初任科入校1名	
8. 26	救助技術指導会全国大会出場1名 (兵庫県三木市)	
9. 8	曾於地区総合防災訓練 (大隅町)	
10. 6	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (熊本県)	
平17. 1. 26	輝北分署に高規格救急車配備 (第4号)	
4. 1	職員2名採用 職員合計108名	
6. 30	管理者 桂次雄氏退任 (第5代)	
7. 1	大隅町・財部町・末吉町合併「曾於市」発足	
8. 18	管理者 池田孝氏就任 (第6代)	
8. 25	救助技術指導会全国大会出場1名 (さいたま県)	
11. 10	第2回屋内消火栓操法大会	
平18. 1. 1	松山町・志布志町・有明町合併「志布志市」発足	
1. 1	輝北町が鹿屋市他2町と合併「鹿屋市」発足	
4. 1	職員3名採用 職員合計111名	
9. 5	曾於地区総合防災訓練 (志布志市志布志町)	
10. 21	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 (福岡県)	
11. 10	第3回屋内消火栓操法大会	
平19. 3. 27	はしご車 (更新) 運用開始式	
3. 31	消防長 重田嘉康氏退職 (第9代) 職員3名退職	
4. 1	消防長 吉元信雄氏就任 (第10代)	
4. 1	職員3名採用 職員合計110名	
5. 27	曾於地区総合防災訓練 (曾於市財部町)	
8. 22	救助技術指導会全国大会1名出場 (はしご登はんの部 (東京都))	
10. 16	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 (大分県中津市)	
11. 13	第4回屋内消火栓操法大会	
平20. 3. 31	輝北分署閉署式	
3. 31	消防長 吉元信雄氏退職 (第10代) 職員2名退職	
4. 1	消防長 仮屋正文氏就任 (第11代)	
4. 1	職員2名採用 職員合計104名	
4. 10	平成20年度鹿児島県消防長会春季総会 (志布志市志布志町)	
4. 11	第31回鹿児島県消防職員意見発表会 (志布志市志布志町)	
5. 7	新任消防長研修 消防長入校 (県消防学校)	
5. 21	新任消防長・学校長科 消防長入校 (消防大学校)	
8. 31	曾於地区総合防災訓練 (大崎町)	
11. 12	第5回屋内消火栓操法大会	
平21. 1. 5	北部署救助工作車更新 運用開始	
3. 31	職員1名退職	
4. 1	職員4名採用 職員合計107名	
4. 14	末吉救急分駐隊試行運用開始	
9. 2	「大隅曾於地区住宅用火災警報器設置推進対策本部」設置	
9. 5	曾於地区総合防災訓練 (志布志市松山町)	
10. 9	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練6名参加 (佐賀県佐賀市)	
10. 28	大崎救急分駐所建設着工	

年 月 日	経 過
	第 6 回屋内消火栓操法大会
	南部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配備
	12. 10 末吉救急分駐所建設着工
平 2 2.	3. 24 末吉・大崎救急分駐所完成，引き渡し
	3. 31 職員 3 名退職
	4. 1 職員 6 名採用 職員合計 110 名
	4. 1 末吉・大崎救急分駐所開所並びに運用開始
	7. 23 消防本部人員搬送車更新配備
	10. 1 携帯電話・I P 電話位置情報通知システム導入及び消防緊急通信指令施設部分更新運用開始
	10. 4 第 67 期初任教育 3 名入校（県消防学校）
	10. 8 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 6 名参加（鹿児島県薩摩川内市）
	10. 20 山岳遭難救助研修 1 名入所（富山県国立登山研修所）
	11. 12 第 7 回屋内消火栓操法大会
平 2 3.	1. 12 北部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配備 C A F S（圧縮空気発泡装置）搭載
	3. 14 東北地方太平洋沖地震（3. 11）に伴う緊急消防援助隊派遣（～3. 22） 救助隊 1 隊 5 名，後方支援隊 1 隊 3 名の計 8 名が宮城県石巻市にて活動
	3. 31 消防長 仮屋正文氏退職（第 11 代） 職員 4 名退職
平 2 3.	4. 1 消防長 松永貞人氏就任（第 12 代）
	4. 1 職員 1 3 名採用 職員合計 119 名
	4. 6 第 68 期初任教育 5 名入校（県消防学校）
	6. 27 曾於消防署起工式
	7. 25 県防災航空センター研修 2 名（県防災航空センター）
	9. 4 曾於地区総合防災訓練（曾於市末吉町）
	10. 3 志布志消防署起工式
	10. 5 第 69 期初任教育 3 名入校（県消防学校）
	10. 20 県合同消防実務研修 3 名参加（鹿児島市消防総合訓練研修センター）
	10. 26 県石油コンビナート等総合防災訓練
	11. 4 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 10 名参加（宮崎県宮崎市）
	11. 11 第 8 回屋内消火栓操法大会
平 2 4.	3. 31 職員 4 名退職
	4. 1 職員 6 名採用 職員合計 119 名
	4. 2 曾於消防署開署式
	4. 4 第 70 期初任教育 4 名入校（県消防学校）
	4. 24 志布志消防署開署式
	5. 14 救助技術指導会管内予選会
	5. 25 志布志消防署ヘリポート運用開始式
	8. 27 第 92 期予防科 1 名入校（消防大学校）
	9. 2 曾於地区総合防災訓練（志布志市有明町）
	9. 16 消防吏員採用試験
	10. 2 第 71 期初任教育 3 名入校（県消防学校）
	10. 29 消防本部指揮車配備
	11. 4 親子ふれあいフェスティバル（志布志消防署）
	11. 17 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 5 名参加（熊本県八代市）（～11.18）
	12. 17 第 2 回危機管理・国民保護コース 1 名入校（消防大学校）
平 2 5.	3. 31 職員 3 名退職

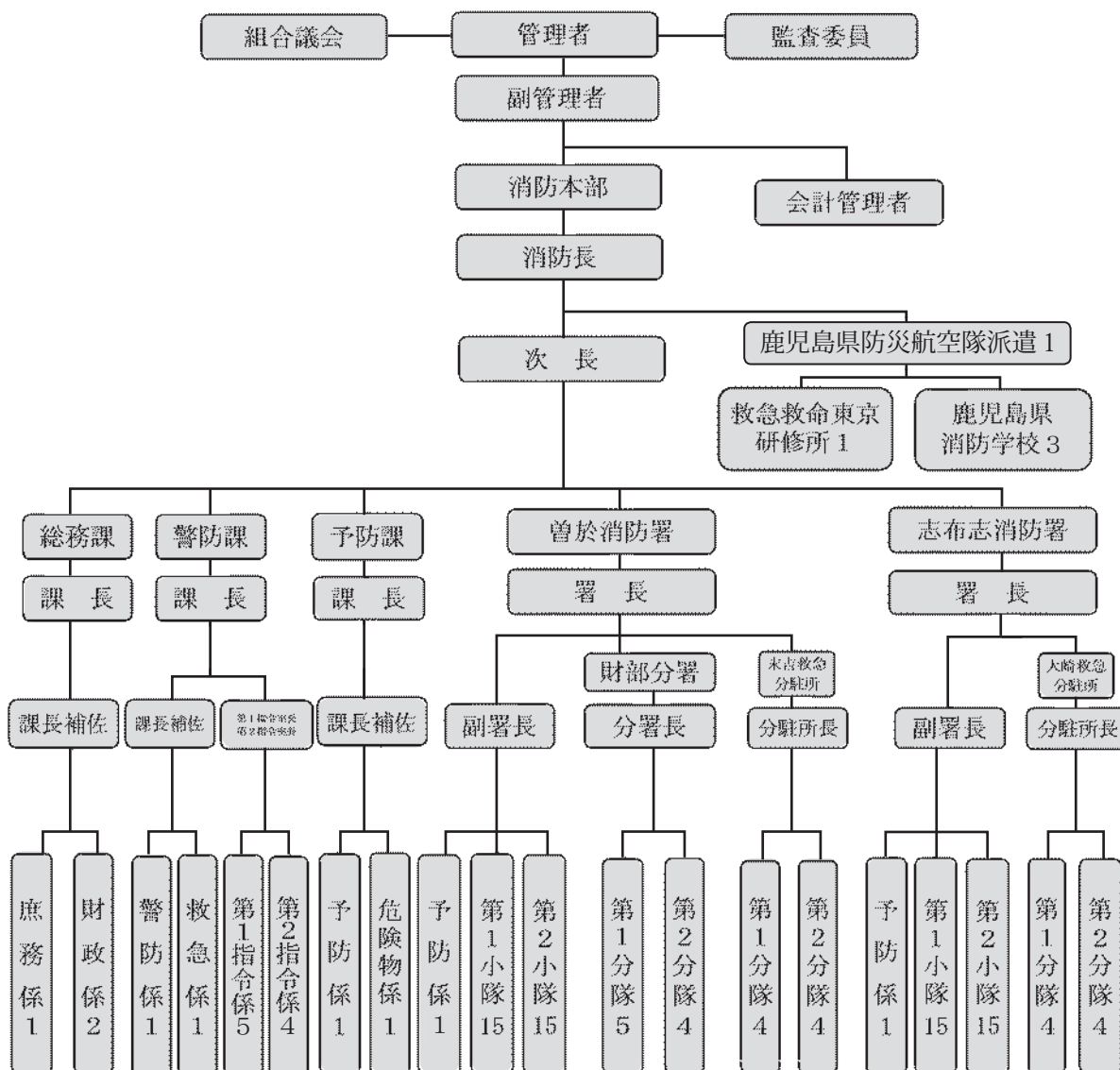
(3) 平成25年度経過

年 月 日	経 過
平25. 4. 1	職員3名採用 職員合計119名
4. 3	第72期初任教育3名入校
4. 4	第43期救急救命士研修1名入所（東京研修所）
4. 8	第1期薬剤投与研修1名入所（九州研修所）
4. 16	志布志消防署県知事視察
5. 8	救助技術指導会管内予選会
5. 9	第36回九州地区消防職員意見発表会1名出場（久留米市）
5. 15	デジタル化整備事業公募型指名入札
5. 22	消防本部庁舎建設入札
5. 24	第1回組合議会臨時会
5. 30	第2期薬剤投与研修1名入所（九州研修所）
6. 13	消防本部庁舎起工式及び安全祈願祭
6. 24	定例監査
7. 18	第3期薬剤投与研修1名入所（九州研修所）
7. 23	防災ヘリ研修2名（～7. 26 県防災航空センター）
7. 25	職員健康診断（～7. 26）
8. 7	甲種防火管理者資格取得講習会（～8. 8）
8. 9	第2回組合議会臨時会
8. 27	管理者巡視
9. 1	曾於地区総合防災訓練（曾於市大隅町文化会館周辺）
9. 3	第30期救急救命士研修1名入所（九州研修所）
9. 17	特殊災害対処訓練（震災対応：尚志館高等学校解体校舎）
9. 22	消防吏員採用試験
10. 17	第18期救助科2名入校（県消防学校）
10. 23	第94期警防科1名入校（消防大学校）
11. 1	第2回組合議会定例会
11. 17	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 24	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県：救助工作車・本部指揮車）
12. 3	職員一般教養（鹿児島弁講座：鹿児島弁検定実行委員会「劇団だっきしょ」）
12. 4	第19期初級幹部科3名入校（県消防学校）
12. 16	危機管理・国民保護コース1名入校（消防大学校）
12. 26	消防本部庁舎引渡式
平26. 1. 15	第17期救急科4名入校（県消防学校）
2. 4	第1回組合議会定例会
2. 7	警防業務リーダー研修会2名参加（福岡市）
3. 6	119回線切替え、高機能消防指令システム及びデジタル無線試験運用開始
3. 28	本部庁舎・通信指令施設・無線デジタル化運用開始式
3. 31	消防長 松永貞人氏退職（第12代） 職員5名退職

5. 消防組合の組織

(1) 組織図

(平成 26 年 4 月 1 日現在)



(2) 役職者氏名

(平成 26 年 8 月 1 日現在)

職 務	氏 名	職 務	氏 名	職 務	氏 名
管 理 者	五位塚 剛	曾於消防署長	牧 耕 志	議 長	上 村 環
副管理者	八 木 達 範	志布志消防署長	坂 元 鶴 雄	議 員	小 辻 一 海
消 防 長	小 野 四 男	議 員	谷 口 義 則	”	東 靖 弘
次 長 兼 警防課長	西 本 修 一	”	海 野 隆 平	副 議 長	長 重 充 輝
総務課長	濱 脇 敏 盛	”	久 長 登 良 男	監 査 委 員	野 村 行 雄
予防課長	川 邊 寛 行	”	本 田 修 一	”	本 田 修 一

消防組合の現況

1. 消 防 組 合 の 事 務 分 掌
2. 消 防 職 員
3. 消 防 機 械
4. 通 信 施 設
5. 消 防 財 政



1. 消防組合の事務分掌

(1) 消防本部の事務分掌

総務課

① 庶務係

- ア 組合議会に関する事。
- イ 公印の保管に関する事。
- ウ 条例、規則、規程及び告示並びに公告式に関する事。
- エ 消防本部所管行政の総合調整に関する事。
- オ 例規集の編集に関する事。
- カ 文書の收受、発送、保存及び廃棄に関する事。
- キ 職員の職階、任命、分限及び懲戒に関する事。
- ク 職員の給与、勤務時間及びその他勤務条件に関する事。
- ケ 職員の服務、研修及び教養に関する事。
- コ 公務災害補償及び職員共済組合に関する事。
- サ 職員の衛生管理及び福利厚生に関する事。
- シ 職員の試験及び選考に関する事。
- ス 職員の人事記録に関する事。
- セ 消防職員委員会に関する事。
- ソ 事務分掌に関する事。
- タ 消防協会事務に関する事。
- チ 表彰に関する事。
- ツ その他、他の係、課の所掌に属さない事務の処理に関する事。

② 財政係

- ア 予算に関する事。
- イ 物品の購入、出納、保管及び処分に関する事。
- ウ 被服、給与品及び貸与品に関する事。
- エ 給料、賃金及び諸手当の支払に関する事。
- オ 決算に関する事。
- カ 組合財産の記録及び総括に関する事。
- キ 組合財産の取得及び処分に関する事。
- ク 消防本部庁舎その他財産の維持管理に関する事。
- ケ 所得税の源泉徴収及び县市町民税の特別徴収に関する事。
- コ 国県補助金に関する事。
- サ 組合債に関する事。
- シ 契約に関する事。

- ス 備品の使用管理に関する事。
- セ 不用品の処分に関する事。
- ソ 車両等の燃料に関する事。

警防課

① 通信指令係

- ア 災害並びに救急業務に係る受報及び出動指令に関する事。
- イ 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関する事。
- ウ 消防通信の計画、運用及び改善に関する事。
- エ 通信施設設備の保全、管理及び運用に関する事。
- オ 通信施設の改善及び研究に関する事。
- カ 火災警報に関する事。
- キ 気象情報に関する事。
- ク 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関する事。
- ケ 消防統計の入出力に関する事。
- コ その他消防通信に関する事。

② 警防係

- ア 課内庶務に関する事。
- イ 消防警備計画に関する事。
- ウ 災害現場の観察に関する事。
- エ 非常招集に関する事。
- オ 各種訓練の計画に関する事。
- カ 消防水利及び地理に関する事。
- キ 救助業務に関する事。
- ク 水防計画に関する事。
- ケ 気象情報及び警報発令に関する事。
- コ 相互応援協定に関する事。
- サ 火災及びその他の災害の調査に関する事。
- シ 火災以外の災害調査及び統計に関する事。
- ス リ災証明に関する事。
- セ 消防通信に関する事。
- ソ 通信施設整備の保全、管理及び運用に関する事。
- タ 通信施設の改善及び研究に関する事。
- チ 消防機械器具の整備及び管理に関する事。

- ツ 消防機械器具の研究及び改善に関すること。
- テ 消防団との連携に関すること。
- ト 統計、調査及び報告に関すること。
- ナ その他警防課の他の係の所掌に属さないこと。

③ 救急係

- ア 救急業務に関すること。
- イ 救急統計及び報告に関すること。
- ウ 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- エ メディカルコントロール協議会に関すること。
- オ 応急手当の普及啓発に関すること。
- カ 職員の救急訓練に関すること。
- キ 患者等搬送事業の指導及び認定に関すること。
- ク 救急の応援協定に関すること。
- ケ 救急告示病院指定の意見書に関すること。
- コ その他救急に関すること。

予防課

① 予防係

- ア 課内庶務に関すること。
- イ 防火管理者の指導及び連携に関すること。
- ウ 火災予防査察に関すること。
- エ 建築同意事務に関すること。
- オ 火災予防の企画に関すること。
- カ 広報活動及び火災予防運動に関すること。
- キ 自衛消防の指導育成に関すること。
- ク 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。
- ケ 消防用設備等の指導に関すること。
- コ 防火対象物の表示及び公表に関すること。
- サ 防火協力団体に関すること。
- シ 統計、調査及び報告に関すること。
- ス 各種証明に関すること。
- セ その他一般火災予防に関すること。
- ソ その他予防課の他の係の所掌に属さないこと。

② 危険物係

- ア 危険物の規制に関すること。
- イ 少量危険物の規制に関すること。
- ウ 指定可燃物の規制に関すること。
- エ 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。
- オ 液化石油ガス販売事業許可の意見書交付に関すること。
- カ 火薬類取締法による煙火の消費の許可その他に関すること。
- キ 危険物取扱者及び保安監督者に関すること。
- ク 防火協力団体に関すること。
- ケ 統計、調査及び報告に関すること。

(2) 消防署等の事務分掌

① 庶務係

- ア 職員の服務及び規律に関すること。
- イ 文書の收受及び整理保存に関すること。
- ウ 予算に関すること。
- エ 庁舎の維持管理に関すること。
- オ 備品の使用管理に関すること。
- カ 物品の取扱いに関すること。
- キ その他署の庶務に関すること。

② 警防係

- ア 火災の予防、警戒及び防ぎよ並びにこれらに必要な措置に関すること。
- イ 救急、救助業務の実施に関すること。
- ウ 水防業務に関すること。
- エ 消防の特別警戒に関すること。
- オ その他の災害の防ぎよに関すること。
- カ 消防職員の教養に関すること。
- キ 地理、水利の調査に関すること。
- ク 通信施設設備の保全、管理及び運用に関すること。
- ケ 消防機械装備の管理及び保全に関すること。
- コ 火災及びその他の災害の調査に関すること。
- サ り災証明及びその他の証明に関すること。
- シ 火災報告及び統計に関すること。
- ス 消防団に関すること。
- セ 各種訓練に関すること。
- ソ その他の警防係の分掌を相当とする事項

③ 予防係

- ア 防火思想の普及宣伝に関すること。
- イ 少量危険物及び指定可燃物等の規制に関すること。
- ウ 火薬類取締法に係る煙火の消費に関すること。(煙火の消費の許可等に係る事務を除く。)
- エ 各種届出の受理及びこれに係る警戒に関すること。
- オ 建築物の同意に関すること。
- カ 予防査察に関すること。
- キ 消防用設備等の設置、維持及び管理に関すること。
- ク 防火管理に関すること。
- ケ 火災の調査に関すること。
- コ 消防統計及び広報に関すること。
- サ 自衛消防の指導育成に関すること。
- シ 幼年、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等の自主防災組織の指導育成に関すること。
- ス その他予防係の分掌を相当とする事項

2. 消 防 職 員

(1) 消防職員の配置状況

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

所属別	階級別	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務職員	計
消防本部	消 防 長	1								1
	次 長		1							1
	総 務 課		1	1	1	1			1	5
	警 防 課 (通信指令室含)			4	2	4	1	1		12
	予 防 課		1	1	2					4
	鹿児島県防災航空隊派遣						1			1
	本 部 付 (研修・入校予定)							1	3	4
小 計		1	3	6	5	6	2	4	1	28
曾於消防署	署 長		1							1
	副署長兼庶務係長			1						1
	予防係長兼住警器担当			1						1
	小 隊 長				2					2
	副 小 隊 長				4					4
	消防・救急・救助隊長									
	分 隊 長				2	6				8
	副 分 隊 長					4				4
	隊 員						2	10		12
小 計		1	2	8	10	2	10		33	
志布志消防署	署 長		1							1
	副署長兼庶務係長			1						1
	予防係長兼住警器担当			1						1
	小 隊 長			1	1					2
	副 小 隊 長				4					4
	消防・救急・救助隊長									
	分 隊 長				1	6				7
	副 分 隊 長					2				2
	隊 員						3	12		15
小 計		1	3	6	8	3	12		33	
財部分署	分 署 長			1						1
	副 分 署 長			1	1					2
	隊 長				2					2
	分 隊 長					2				2
	副 分 隊 長						2	1		3
	隊 員									
小 計			2	3	2	2	1		10	
末吉救急分駐所	分 駐 所 長			1						1
	分駐所長代理				1					1
	隊 長									
	分 隊 長					2				2
	副 分 隊 長									
	隊 員					(1)	2(1)	2		4
小 計			1	1	2	2	2		8	
大崎救急分駐所	分 駐 所 長			1						1
	分駐所長代理				1					1
	隊 長									
	分 隊 長					3				3
	副 分 隊 長									
	隊 員					(1)	1(1)	2		3
小 計			1	1	3	1	2		8	
合 計		1	5	15	24	31	12	31	1	120

() については、兼務者の数を表す。定数外(鹿児島県防災航空隊派遣)1名を含む。

(2) 消防職員の階級別年齢状況

(平成26年4月1日現在)

年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	総数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
18歳																		
19歳							1		1									
20歳							3		3									
21歳							3		3									
22歳							5		5									
23歳							5		5									
24歳							4		4									
25歳								1	3									
26歳								2	2									
27歳								1	3									
28歳								1	1									
29歳									4									
30歳							3	1										
31歳							1		1									
32歳							2	2										
33歳					1		2											
34歳							2											
35歳							3											
36歳							4											
37歳							2											
38歳							3											
39歳					1		5											
40歳					1		1											
41歳					3		2											
42歳					1													
43歳							1											
44歳																		
45歳					2													
46歳					3													
47歳					2													
48歳					2													
49歳					2													
50歳					2													
51歳				1	1				1									
52歳					3													
53歳				2														
54歳				1														
55歳		1		2														
56歳		1		3														
57歳				2														
58歳				2														
59歳	1	3		2														
合計	1	5	15	24	31	12	31	1	120									

(3) 特殊技能資格者の状況

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

免許の種別	階級	司令長 以上	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計	備 考
	職員数	6	15	24	31	12	31		
救 急 救 命 士		1	4	14	15	5	9	48	
衛 生 管 理 者		5	4					9	
危 険 物 取 扱 者	乙	1	5	10	28	9	12	65	
	丙			2	3			5	
消 防 設 備 士	甲			2				2	
	乙			4	4	1	1	10	
予 防 技 術 検 定	防 火 査 察		1	1	8	5	6	21	
	消 防 用 設 備 等		2	4	2	1	2	11	
	危 険 物		1	3	2	1		7	
運 転	大 型	4	12	21	32	12	14	95	
	中 型	1		1	1	1	2	6	
	大 特			1	1		1	3	
	牽 引	1		1				2	
フォークリフト運転技能			1		2			3	
一級陸上特殊無線技師				1			1	2	
二級陸上特殊無線技師		1	1		1		1	4	
三級陸上特殊無線技師		1	2	8	27	1	2	41	
四級アマチュア無線		1	6	2	2	1		12	
一級小型船舶操縦士		1	1					2	
二級小型船舶操縦士			3	3	8	1		15	
潜 水 士		2	3	6	12	2	4	29	
第二種酸素欠乏危険作業主任者			1	1	1			3	
特定化学物質等作業主任者			4	15	8	1		28	
二 級 建 築 士							1	1	
電 気 工 事 士			1	1				2	
ガ ス 溶 接 技 能		1	4	4	8	1	1	19	
ア ー ク 溶 接 技 能					1		1	2	
小型ボイラー取扱技能				1	2			3	
玉 掛 技 能			3	9	20	5	5	42	
小型移動式クレーン運転技能		1	3	10	23	4	6	47	
計		21	62	125	211	51	69	539	

(4) 消防職員研修状況

(平成26年4月1日現在)

研修科目		年度	平成20 年度以 前の実 績	平成 21年 度	平成 22年 度	平成 23年 度	平成 24年 度	平成 25年 度	計
消防 大学 校	新任消防長・学校長科		1						1
	上級幹部科		1						1
	警防科		3					1	4
	予防科		4			1	1		6
	救急科		3						3
	救助科		8		1				9
	火災調査科		9	1					10
	危機管理・防災教育科		4	1	1	1	1	1	9
鹿 児 島 県 消 防 学 校	初任教育		118	4	6	8	7	3	146
	救急Ⅰ課程		83						83
	救急Ⅱ課程		41						41
	救急科(救急標準課程)		50	3	3	3	4	4	67
	気管挿管講習		12	4					16
	応急手当指導員講習Ⅰ		15						15
	警防科		15	3					18
	予防科		19						19
	予防課程		3						3
	査察課程		1						1
	予防査察科		16	3		3		2	24
	火災調査課程		19				2		21
	無線科		47						47
	救助科		33		3	3	2	2	43
	はしご車研修		4						4
	操法審査員研修		72		8		8		88
	初級幹部科		31	3		3		3	40
中級幹部科		18				3		21	
新任消防長研修		1						1	
九州地区警防実務講習会		8						8	
救急救命研修所		25	2	2	2	2	2	35	
県防災航空センター研修		14	2	2	2	2	2	24	
合計		678	26	26	26	32	20	808	

3. 消 防 機 械

(1) 消防用車両

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

種 別	区 分	配備位置	車名及び年式	型 式	排気量	総重量	ポンプ構造 そ の 他	備 考
水槽付消防ポンプ車(1号)		曾 於 署	日 野 23 年	BDG-GX7 JGWA 改	6.40	9,500	ME-5	鹿児島 831 ひ 119
〃 (2号)		志布志署	日 野 22 年	BDG-GX7 JGWA 改	6.40	9,210	GM23	鹿児島 831 つ 119
小型動力ポンプ付積載車(3号)		財部分署	三 菱 8 年	KC-FE 507B	4.21	4,570	シバウラ TF-30MES	鹿児島 88 す 64-36
救助工作車(1号)		曾 於 署	日 野 20 年	BDG-GX7 JGWA 改	6.40	10,640		鹿児島 831 そ 119
〃 (2号)		志布志署	日 野 12 年	KK-GD1J GDA	7.96	8,290		鹿児島 800 は 95
はしご車		志布志署	イビコ 19 年	F4AE0681A	5.88	15,230		鹿児島 800 は 989
救急車(1号)		曾 於 署	日 産 24 年	CBF-FPW GE50 改	3.49	3,295	高規格	鹿児島 830 せ 12-01
〃 (2号)		曾 於 署	トヨタ 15 年	TC-VCH 38S	3.37	3,165	高規格	鹿児島 800 さ 63-92
〃 (4号)		末吉救急分駐所	トヨタ 25 年	CBF-TRH 226S	2.69	3,215	高規格	鹿児島 800 す 45-36
〃 (5号)		財部分署	日 産 22 年	CBF-FPW GE50 改	3.49	3,325	高規格	鹿児島 830 せ 20-10
〃 (6号)		志布志署	日 産 24 年	CBF-FPW GE50 改	3.49	3,295	高規格	鹿児島 830 さ 12-02
〃 (7号)		志布志署	日 産 16 年	TC-FPW GE50 改	3.49	3,315	高規格	鹿児島 830 ふ 119
〃 (9号)		大崎救急分駐所	日 産 19 年	ABF-FPW GE50 改	3.49	3,275	高規格	鹿児島 830 せ 99
非常用救急車(3号)		曾 於 署	日 産 10 年	E-FEGE24	2.96	2,635		鹿児島 88 す 87-75
〃 (8号)		志布志署	日 産 13 年	GE-FLW GE50 改	3.49	3,275	高規格	鹿児島 800 さ 38-24
指揮車(1号)		本 部	トヨタ 24 年	CBF-TRH 221K	2.69	3,075		鹿児島 88 す 42-47
〃 (2号)		曾 於 署	日 産 8 年	E-PNW10	1.99	1,665		鹿児島 800 に 28-99
〃 (3号)		志布志署	ホンダ 9 年	E-RD1	1.97	1,695		鹿児島 88 す 80-31
本部連絡車		本 部	ホンダ 11 年	GF-EL2	1.97	1,525		鹿児島 500 さ 99-11
人員搬送車		本 部	トヨタ 22 年	CBA-TRH 214W	2.69	2,500		鹿児島 300 ほ 97-03
査察車		本 部	三 菱 14 年	GF-H58A	0.65	1,170		鹿児島 53 あ 76-70
出張公用車		本 部	スズキ 20 年	CBA-MH22S	0.65	1,120		鹿児島 580 ち 27-35
資器材搬送車		志布志署	スバル 21 年	EBD-TT2	0.65	1,260		鹿児島 480 け 77-00

(2) 特殊機械

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

品名	内 容	曾 於 署	財 部 分 署	未 吉 救 急 分 駐 所	志 布 志 署	大 崎 救 急 分 駐 所	計
消 防 ホ ー ス	40mm	13	10		2		25
消 防 ホ ー ス	50mm	23	18		29		70
消 防 ホ ー ス	65mm	46	3		40		89
空 気 呼 吸 器		13	3		10		26
酸 素 呼 吸 器		5					5
簡 易 呼 吸 器		2					2
空 気 呼 吸 器 用 ボ ン ベ		30	10		31		71
救 急 用 酸 素 ボ ン ベ	2ℓ・3.5ℓ・10ℓ	23	12	14	23	12	84
耐 電 衣 服		6			1		7
耐 熱 服		2					2
化 学 防 護 服		2					2
陽 圧 式 化 学 防 護 服		5					5
放 射 線 防 護 服		2					2
防 染 シ ャ ワ ー		1					1
生 物 剤 検 知 器 一 式		1					1
救 命 索 発 射 銃		1			1		2
エ ア ー フ ォ ー ム	消火薬剤	31			10		41
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	スチール 350	1			1		2
発 電 機	車載用	2	1		4		7
ホ ー ス 背 負 器	3本入	1			1		2
ポ ー ト パ ワ ー 一 式		1	1		1		3
チ ェ ー ン ソ ー		1	1		1		3
チ ル ホ ー ル ン		1	1		2		4
ス ロ ー ダ ン		1			2		3
三 連 は し ご		2			2		4
か ぎ 付 は し ご		1			2		3
ワ イ ヤ ー は し ご		1			1		2
張 力 計		1			1		2
ガ ス 検 知 器		1			1		2
マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	一式	1			1		2
空 気 式 救 助 マ ッ ト		1			1		2
油 圧 ス プ レ ッ ダ ー		1			1		2
油 圧 切 断 機		1			1		2
油 圧 ポ ン プ		1			1		2
手 動 式 油 圧 ポ ン プ					1		1
酸 素 溶 断 機		1			1		2
マ ン ホ ー ル 救 助 器 具		1			2		3
空 気 鋸	一式	1					1
削 岩 機		1					1
削 岩 機	手動式	1			1		2
ハ ン マ ー ド リ ル		1					1
送 排 風 機		1			1		2
鉄 筋 カ ッ タ ー					1		1
携 帯 警 報 機		5			10		15
防 毒 マ ス ク		8	3	3	8	3	25
登 山 器 具	一式	2					2
簡 易 画 像 探 索 装 置	ファイバースコープ	1					1
半 自 動 式 除 細 動 器		3	1	1	3	1	9
自 動 体 外 式 除 細 動 器	二相波形式						
自 動 体 外 式 除 細 動 器	AED	3			4		7
A E D ト レ ー ナ ー		6	2	1	6	1	16
輸 液 ポ ン プ		1	1		2	1	5
バ ッ ク ボ ー ド		3	1	2	3	1	10
気 道 確 保 用 資 機 材		4	1	1	1	1	8
人 工 蘇 生 器	ミニットマンデマンドバルブ	2	1	1	3		7
マ ジ ッ ク ギ ッ プ ス		4	1	1	3	1	10
ス ケ ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー		4	1	1	5	1	12
万 能 吸 引 器		4	1	1	4	1	11
レ サ シ ア ン		8	3	3	5	3	22
自 動 心 マ ッ サ ー ジ		2	1	1	3	1	8
心 電 図 等 監 視 モ ニ タ ー		3	1	1	3	1	9
ア ネ ロ イ ド 血 圧 計		4	2	2	4	1	13
搬 送 用 保 育 器	V-80 TRアトム	1					1
滅 菌 器		2	1		1		4
プ ロ ジ ェ ク タ ー 一 式	EPSON	1					1
潜 水 器 具 一 式					16		16
水 中 送 受 信 機					1		1
水 中 受 信 機					7		7
ウ エ ッ ト ス ー ツ					16		16
ゴ ム ボ ー ト	船外機用, それ以外	1			1		2
船 外 機					1		1
エ ア ー テ ン ト	一式	1			1		2

4. 通 信 施 設

(1) 通信施設の機器構成

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

設置場所	機器名称	設置場所	機器名称
通 信 指 令 室	1 指令系装置 (1) 指令制御装置 (2) 非常用指令制御装置 (3) 通信指令台 (4) 防災無線等集中制御装置 2 情報系装置 (1) 自動出動指定装置 (2) 地図等検索装置 (3) データ修正装置 (4) 指令電送送信装置 (5) 指令音声合成装置 (6) 防災無線音声合成装置 (7) 災害状況等自動案内装置 (8) DBX 装置 (9) 表示盤制御装置 (10) 多目的情報表示盤 (70IC) (11) 車両運用表示盤 (42IC×2) (12) 支援情報表示盤 (42IC×2) (13) 車両運用管理装置 (14) 車両運用端末装置 (15) 監視カメラ装置 (16) メインサーバ (17) 予備サーバ (18) 経路検索サーバ (19) 統合型位置情報サーバ 3 無線系装置 (1) 無線回線制御装置 (2) 無線統制台 (3) 基地局無線装置 ア 基本架 イ 増設架 (4) 空中線共用器 (5) 同軸 SPD (6) 回線多重化装置 (7) 簡易多重無線通信装置 (8) 管理監視制御装置 (9) 遠方監視装置 (10) 被遠方監視装置 (11) 空中線 ア パラボラアンテナ (1.2φ) イ 2段コーリニアアンテナ	曾 於 消 防 署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 可搬型移動局無線装置
		志 布 志 消 防 署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 可搬型移動局無線装置 (4) 卓上型可搬無線装置 (5) 空中線 反射素子付き 2段コーリニアアンテナ
		財 部 分 署	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 卓上型可搬無線装置 (4) 空中線 反射素子付き 2段コーリニアアンテナ
霧 岳 基 地 局	1 無線系装置 (1) 基地局無線装置 ア 基本架 イ 増設架 (2) 空中線共用器 (3) 同軸 SPD (4) 回線多重化装置 (5) 簡易多重無線通信装置 (6) 管理監視制御装置 (7) 被遠方監視装置 (8) 空中線 ア パラボラアンテナ (1.2φ) イ 反射素子付き 2段コーリニアアンテナ	末 吉 救 急 分 駐 所	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 卓上型受令器 (4) 空中線 ホイップ型アンテナ
		大 崎 救 急 分 駐 所	1 指令系装置 (1) 署所端末装置 (2) 駆込み通報用電話 2 情報系装置 (1) 指令電送出力装置 (2) 地図等検索装置 3 無線系装置 (1) 車載型移動局無線装置 (2) 携帯型移動局無線装置 (3) 卓上型受令器 (4) 空中線 ホイップ型アンテナ

(2) 大隅曾於地区消防組合無線局配備状況(デジタル周波数)

ア 消防波 1 (FH) (FL) イ 消防波 2 (FH) (FL) ウ 主運用波 (FH) (FL)
 エ 統制波 1 (FH) (FL) オ 統制波 2 (FH) (FL) カ 統制波 3 (FH) (FL)

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

所 属	無線局種 別	設 置 場 所	呼 出 し 名 称	略 称	空 中 線 電 力 (W)	消 防 波 1	消 防 波 2	主 運 用 波 1	統 制 波 1~3	
消 防 本 部	固定局 基地局	通信指令室	そおしょうほんぶ		10	○	○	○	○	
	車載型 移動局	指 揮 車	そおしょう 61	指 揮 1	10	○	○	○	○	
		連 絡 車	そおしょう 62	連 絡	10	○	○	○	○	
		人員搬送車	そおしょう 63	人 員 搬 送	10	○	○	○	○	
		査 察 車	そおしょう 64	査 察	10	○	○	○	○	
携帯型 移動局		そおしょう 601		5	○	○	○	○		
霧 岳	固定局 基地局	霧 岳 局 舎	そおしょうきりだけ		10	○	○	○	○	
曾 於 消 防 署	車載型 移動局	指 揮 車	そおしょう 11	指 揮 2	10	○	○	○	○	
		タ ン ク 車	そおしょう 12	タ ン ク 1	10	○	○	○	○	
		工 作 車	そおしょう 13	工 作 1	10	○	○	○	○	
		救急 1 号車	そおしょう 14	救 急 1	10	○	○	○	○	
		救急 2 号車	そおしょう 15	救 急 2	10	○	○	○	○	
		非常用救急車	そおしょう 16	救 急 3	10	○	○	○	○	
	携帯型 移動局		そおしょう 101			5	○	○	○	○
			そおしょう 102			5	○	○	○	○
			そおしょう 103			5	○	○	○	○
			そおしょう 104			5	○	○	○	○
			そおしょう 105			5	○	○	○	○
			そおしょう 106			5	○	○	○	○
			そおしょう 107			5	○	○	○	○
			そおしょう 108			5	○	○	○	○
			そおしょう 109			5	○	○	○	○
	そおしょう 110			5	○	○	○	○		
可搬型 移動局	指揮所可搬	そおしょう 11	曾於指揮所	10	○	○	○	○		
末 吉 分 駐 所	車載型 移動局	救 急 車	そおしょう 21	救 急 4	10	○	○	○	○	
	携帯型 移動局		そおしょう 201		5	○	○	○	○	

財 部 分 署	可搬型 移動局	卓 上 移 動	そおしょう 3	卓 上 財 部	10	○	○	○	○
	車載型 移動局	タ ン ク 車	そおしょう 31	タ ン ク 3	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょう 32	救 急 5	10	○	○	○	○
	携 帯 型 移動局		そおしょう 301		5	○	○	○	○
			そおしょう 302		5	○	○	○	○
			そおしょう 303		5	○	○	○	○
志布志 消防署	可搬型 移動局	卓 上 移 動	そおしょう 4	卓上志布志	10	○	○	○	○
		指 揮 車	そおしょう 41	指 揮 3	10	○	○	○	○
		タ ン ク 車	そおしょう 42	タ ン ク 2	10	○	○	○	○
		工 作 車	そおしょう 43	工 作 2	10	○	○	○	○
		梯 子 車	そおしょう 44	梯 子 1	10	○	○	○	○
		資機材搬送	そおしょう 45	搬 送 1	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょう 46	救 急 6	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょう 47	救 急 7	10	○	○	○	○
	非常用救急車	そおしょう 48	救 急 8	10	○	○	○	○	
	携 帯 型 移動局		そおしょう 401		5	○	○	○	○
			そおしょう 402		5	○	○	○	○
			そおしょう 403		5	○	○	○	○
			そおしょう 404		5	○	○	○	○
			そおしょう 405		5	○	○	○	○
			そおしょう 406		5	○	○	○	○
			そおしょう 407		5	○	○	○	○
			そおしょう 408		5	○	○	○	○
			そおしょう 409		5	○	○	○	○
			そおしょう 410		5	○	○	○	○
そおしょう 411			5		○	○	○	○	
可搬型 移動局	指揮所可搬	そおしょう 412	志布志指揮所	10	○	○	○	○	
大 崎 分駐所	車載型 移動局	救 急 車	そおしょう 51	救 急 9	10	○	○	○	○
	携 帯 型 移動局		そおしょう 501		5	○	○	○	○

(2) 大隅曾於地区消防組合無線局配備状況(アナログ周波数)

ア 市町村波(組合波) 149.13MHz イ 県内共通波 148.21MHz
 ウ 全国共通波1 150.73MHz エ 全国共通波2 148.75MHz
 オ 全国共通波3 154.15MHz

(平成26年4月1日現在)

所 属	無線局種 別	設 置 場 所	呼 出 し 名 称	略 称	空中線電力(W)	組合波	県内波	全国波1	全国波2~3
消 防 本 部	固定局 基地局	通信指令室	しょうぼうおおすみ		10	○	○	○	○
	携帯型 移動局		しょうぼうおおすみ19		5	○	○	○	○
			しょうぼうおおすみ21		5	○	○	○	○
霧 岳	固定局 基地局	霧 岳 局 舎	しょうぼうきりだけ		10	○			
曾 於 消防署	携帯型 移動局		しょうぼうそお11		5	○	○	○	○
			しょうぼうそお12		5	○	○	○	○
			しょうぼうそお13		5	○	○	○	
			しょうぼうそお14		5	○	○	○	○
			しょうぼうそお15		5	○	○	○	○
			しょうぼうそお16		5	○	○	○	○
			きゅうきゅうそお11		5	○	○	○	○
			きゅうきゅうそお12		5	○	○	○	
末 吉 分駐所	携帯型 移動局		きゅうきゅうすえよし11		5	○	○	○	○
財 部 分 署	携帯型 移動局		しょうぼうたからべ11		5	○	○	○	○
			しょうぼうたからべ12		5	○	○	○	○
			しょうぼうたからべ13		5	○	○	○	
志布志 消防署	携帯型 移動局		しょうぼうしぶし11		5	○	○	○	○
			しょうぼうしぶし12		5	○	○	○	○
			しょうぼうしぶし13		5	○	○	○	○
			しょうぼうしぶし14		5	○	○	○	○
			しょうぼうしぶし15		5	○	○	○	○
			きゅうきゅうしぶし11		5	○	○	○	○
			きゅうきゅうしぶし12		5	○	○	○	○
大 崎 分駐所	携帯型 移動局		きゅうきゅうおおさき11		5	○	○	○	○

5. 消 防 財 政

(1) 平成23・24・25年度決算及び平成26年度予算の概況

ア 歳 入

款・項・目	平成26年度 当初予算額 (円)	平成25年度 決算(見込)額 (円)	平成24年度 決算額 (円)	平成23年度 決算額 (円)
1. 分担金及び負担金	989,309,000	1,104,419,000	1,042,024,000	1,063,615,000
2. 使用料及び手数料	800,000	1,791,000	1,167,450	1,493,650
3. 国庫支出金	-	138,579,000	-	-
4. 県支出金	-	200,000	191,100	-
5. 財産収入	42,000	400,825	392,870	343,474
6. 繰入金	47,348,000	155,540,000	7,786,000	25,711,000
7. 繰越金	3,000,000	3,428,152	3,343,218	3,516,382
8. 諸収入	9,529,000	9,760,607	9,808,623	4,287,869
9. 組合債	8,600,000	302,100,000	15,000,000	16,600,000
歳入合計	1,058,628,000	1,716,218,584	1,079,713,261	1,115,567,375

イ 歳 出

款・項・目	節	平成26年度 当初予算額 (千円)	平成25年度 決算(見込)額 (円)	平成24年度 決算額 (円)	平成23年度 決算額 (円)	
1. 議会費		333,000	295,762	272,850	273,700	
2 議会費	3 議会費	1 報酬	186,000	187,834	186,000	193,500
		9 旅費	139,000	103,128	83,010	72,200
		12 役務費	8,000	4,800	3,840	8,000
2. 総務費		3,097,000	27,406,554	2,864,405	3,281,398	
1 総務 管理費	1 一般 管理費	1 報酬	108,000	92,000	108,000	108,000
		5 災害補償費	-	-	-	30,000
		9 旅費	661,000	454,466	335,062	327,821
		10 交際費	80,000	28,500	15,300	14,715
		19 負担金,補助 及び交付金	362,000	350,800	354,300	343,900
		25 積立金	42,000	24,846,796	377,270	341,074
	2 厚生 福利費	13 委託料	1,796,000	1,599,922	1,637,455	1,483,802
		19 負担金,補助 及び交付金	-	-	-	600,000

款・項・目			節	平成26年度 当初予算額 (円)	平成25年度 決算(見込)額 (円)	平成24年度 決算額 (円)	平成23年度 決算額 (円)
	2 監査費用費			48,000	34,070	37,018	32,086
		1 監査委員費	1 報酬	22,000	21,000	22,000	22,000
			9 旅費	26,000	13,070	15,018	10,086
3. 消防費				1,038,780,000	1,670,026,684	1,060,440,180	1,091,860,435
				1,038,780,000	1,670,026,684	1,060,440,180	1,091,860,435
1 消防費		1 常備 消防費	2 給料	419,364,000	403,053,079	426,359,043	428,517,121
			3 職員手当等	319,188,000	314,898,014	361,350,708	360,266,286
			4 共済費	153,191,000	140,196,470	147,278,215	149,739,127
			7 賃金	924,000	924,000	907,200	907,200
			8 報償費	229,000	219,616	122,833	183,315
			9 旅費	10,701,000	9,088,303	10,845,874	10,564,841
			11 需用費	45,529,000	30,391,497	30,059,669	30,831,166
			12 役務費	20,040,000	12,085,060	11,653,849	10,733,655
			13 委託料	5,961,000	9,976,155	22,099,772	16,521,641
			14 使用料及び び賃借料	3,375,000	2,820,094	2,095,642	518,954
			15 工事請負費	-	-	315,000	6,300,000
			16 原材料費	400,000	176,889	72,918	124,003
			18 備品購入費	14,162,000	14,835,167	41,593,297	70,920,704
			19 負担金,補助 及び交付金	5,415,000	4,707,340	5,151,160	5,003,660
		22 補償,補填 及び賠償金	-	346,500	-	231,162	
		27 公課費	512,000	475,400	535,000	497,600	
		2 消防 施設費	12 役務費	-	76,000	-	-
			13 委託料	-	8,347,500	-	-
			15 工事請負費	-	717,409,600	-	-
			18 備品購入費	39,789,000	-	-	-
4. 公債費				13,418,000	10,844,723	9,207,674	5,808,624
				13,418,000	10,844,723	9,207,674	5,808,624
1 公債費		1 元金	23 償還金,利子 及び割引料	10,672,000	10,607,029	8,987,690	5,686,127
		2 利子	23 償還金,利子 及び割引料	2,746,000	237,694	219,984	122,497
5. 予備費				3,000,000	-	-	-
歳出合計				1,058,628,000	1,708,573,723	1,072,785,109	1,101,224,157

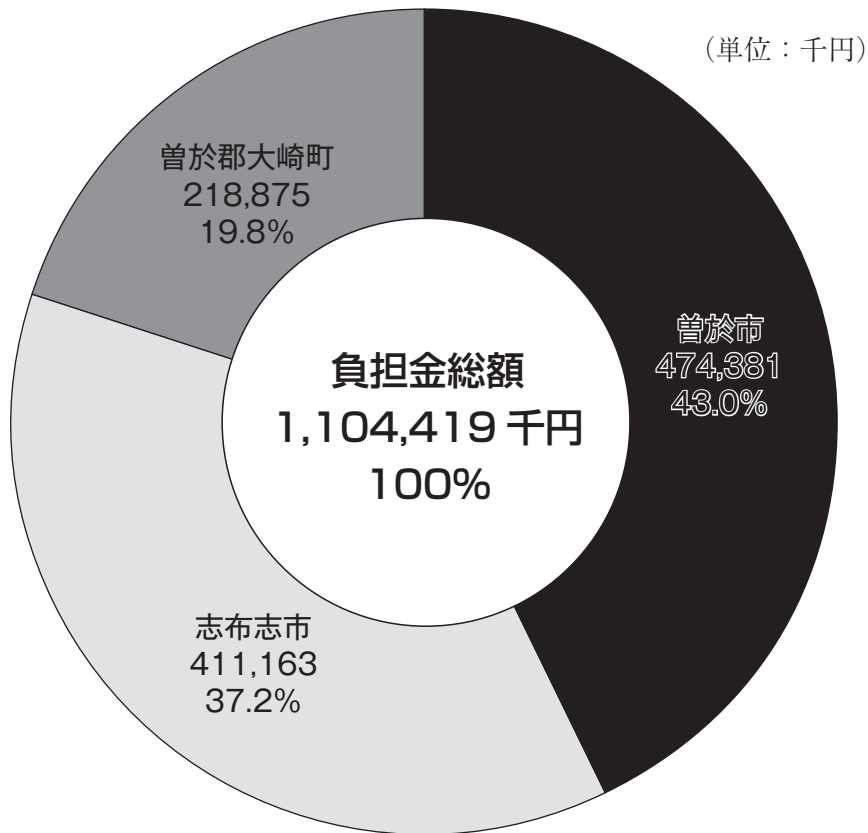
ウ 基金積立状況

基金名	年度 平成 25 年度末 (円)
消防賞じゅつ基金	30,000,000
消防施設整備基金	53,931,650
財政調整基金	78,568,411
庁舎建設基金	22,819,991

エ 人口1人当り, 1世帯当りの額 (平成25年度決算額)

負担金総額	管内人口	人口1人 当りの額	管内 世帯数	1世帯 当りの額
円	人	円	戸	円
1,104,419,000	86,386	12,785	41,285	26,751

オ 各市町負担割合 (平成 25 年度決算額)



カ 交付税基準財政需要額 (消防費) に対する組合負担金の充当率

市町名	平成 25 年度 (千円)			平成 24 年度 (千円)		
	基準財政需要額	負担金	率 (%)	基準財政需要額	負担金	率 (%)
曾於市	541,339	474,381	87.6	563,746	447,469	79.4
志布志市	476,280	411,163	86.3	496,466	387,838	78.1
曾於郡大崎町	237,654	218,875	92.1	245,278	206,458	84.2
計	1,255,273	1,104,419	88.0	1,305,490	1,041,765	79.8

予 防 業 務

1. 防 火 対 象 物 ・ 査 察 等
2. 建 築 確 認 同 意 事 務
3. 防 火 管 理 に つ い て
4. 危 険 物 関 係 事 務
5. 広 報
6. 消 防 協 力 団 体 等



1. 防火対象物・査察等

(1) 市町別防火対象物数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

項目	市町別		計	曾 於 市			志 布 志 市		曾於郡 大崎町	査察回数	
				大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町			有明町
1	イ	劇場等	2					1	1		
	ロ	集会場等	99	21	17	16	6	12	11	16	
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場等	11	2		3		4		2	
	ハ	風営法店舗等									
	ニ	カラオケ等	2	1					1		
3	イ	料理店等	1					1			
	ロ	飲食店	58	10	6	12		19	2	9	
4		百貨店等	146	31	9	35	4	34	13	20	
5	イ	旅館等	20	2	1	5	1	7	1	3	
	ロ	共同住宅等	289	49	11	36	5	135	36	17	
6	イ	病院等	75	9	6	21	2	17	10	10	
	ロ	老人短期入所施設等	82	12	7	19	5	14	10	15	
	ハ	老人デイサービスセンター等	74	10	3	19	4	11	14	13	
	ニ	特別支援学校等	8	1	2	1		2	1	1	
7		学校等	220	38	15	42	14	47	26	38	
8		図書館等	9	1	1	2	1	1	2	1	
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	一般浴場	4	1	1	1			1		
10		車両停車場	1					1			
11		神社等	30	3	5	5	3	10	2	2	
12	イ	工場等	575	49	73	108	32	116	97	100	
	ロ	スタジオ等									
13	イ	車庫等	55	7	3	14	4	18	5	4	
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	363	45	34	58	12	132	39	43	
15		前各項以外	1,066	229	59	285	21	126	96	250	
16	イ	特定用途複合	159	17	12	22	6	67	8	27	
	ロ	イ以外複合	61	9	3	9	1	21	4	14	
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財									
18		アーケード									
合計			3,410	547	268	713	121	796	380	585	1,222

特定防火対象物

(2) 中高層建物の状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分	市町別						曾於郡 大崎町	合 計
	曾 大隅町	於 財部町	市 末吉町	志 松山町	布 志布志町	志 有明町		
3 階	39	9	28	8	81	18	21	204
4 〃	9	5	14	1	31	6	6	72
5 〃	2				25	1	3	31
6階以上					27			27
計	50	14	42	9	164	25	30	334
15 m以上	4	3	8	1	39	4	11	70
20 m以上	1	1	2	1	50	1	2	58
計	5	4	10	2	89	5	13	128

(3) 火災予防に関する各種届出等の状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

区 分	件 数
少量危険物貯蔵・取扱い届出	19
炉, かまど, ボイラー設置届出	9
火災とまぎらわしい煙又は火煙を發するおそれのある行為の届出	204
煙火打上げ仕掛け届出	161
催物開催届出	2
液化石油ガスに関する意見書交付申請書	
防火安全性に関する通知書交付申請書	1
工事整備対象設備等着工届出	78
消防用設備等設置届出	170
消防用設備等点検結果報告書	1,011
消防用設備等緩和願書	7
防火管理者選任(解任)届出	122
消防計画作成(変更)届出	127
水素ガスを充填する気球の設備届出	
防火対象物使用開始届出	59
発電, 変電, 蓄電池設備設置届出	67
道路工事届出	342
液化石油ガス, 圧縮アセチレンガス貯蔵・取扱い届出	39
乾燥設備設置届出	2
毒物, 劇物貯蔵又は取扱い開始届出	
指定可燃物貯蔵・取扱い届出	
水道断水, 減水届出	
合 計	2,420

2. 建築確認同意事務

(1) 用途別同意事務状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

項目	区分	工事種別					計
		新築	増築	改築	用途変更	その他	
1	イ	劇場等					
	ロ	集会場等	2				2
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等					
	ハ	風営法店舗等					
	ニ	カラオケ等					
3	イ	料理店等					
	ロ	飲食店	3				3
4		百貨店等	4				4
5	イ	旅館等					
	ロ	共同住宅等	10				10
6	イ	病院等	1	1			2
	ロ	老人短期入所施設等	1	2		1	4
	ハ	老人デイサービスセンター等	13			1	14
	ニ	特別支援学校等					
7		学校等	4	1			5
8		図書館等				1	1
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	一般浴場					
10		車両停車場					
11		神社等					
12	イ	工場等	9	3			12
	ロ	スタジオ等					
13	イ	車庫等	2				2
	ロ	特殊格納庫					
14		倉庫	6				6
15		前各項以外	18				18
16	イ	特定用途複合					
	ロ	イ以外複合	1				1
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		文化財					
18		アーケード					
		合計	74	7		3	84

特定防火対象物

3. 防火管理について

(1) 防火管理者選任状況及び消防計画提出状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分 項 目		法 8 条対象物数			防火管理者選任届済		消防計画提出済	
		A + B	甲種 (A)	乙種 (B)	甲 種	乙 種	甲 種	乙 種
1	イ 劇 場 等	1	1		1		1	
	ロ 集 会 場 等	65	53	12	50	7	43	5
2	イ キャバレー等							
	ロ 遊 技 場 等	12	11	1	11	1	11	1
	ハ 風 営 法 店 舗 等							
	ニ カ ラ オ ケ 等	2		2		1		1
3	イ 料 理 店 等	1		1		1		1
	ロ 飲 食 店	46	20	26	15	23	15	22
4	百 貨 店 等	77	66	11	61	10	58	9
5	イ 旅 館 等	15	10	5	10	5	10	5
	ロ 共 同 住 宅 等	7	6	1	2		1	
6	イ 病 院 等	28	28		28		27	
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	38	35	3	32	3	32	3
	ハ 老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	37	29	8	29	7	29	7
	ニ 特 別 支 援 学 校 等	6	6		6		6	
7	学 校 等	41	41		40		38	
8	図 書 館 等	8	6	2	6	2	6	2
9	イ 蒸 気 浴 場 等							
	ロ 一 般 浴 場	2	2		2		2	
10	車 両 停 車 場							
11	神 社 等	6	4	2	3	2	3	2
12	イ 工 場 等	19	18	1	17	1	16	1
	ロ ス タ ジ オ 等							
13	イ 車 庫 等							
	ロ 特 殊 格 納 庫							
14	倉 庫	1	1		1		1	
15	前 各 項 以 外	58	47	11	44	7	37	7
16	イ 特 定 用 途 複 合	50	48	2	41	2	36	2
	ロ イ 以 外 複 合	1	1		1		1	
16の2	地 下 街							
16の3	準 地 下 街							
17	文 化 財							
18	ア ー ケ ード							
合 計		521	433	88	400	72	373	68

特定防火対象物

(2) 防火管理者資格証交付状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

年度	曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町	管 外	計
	大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町			
20 年度まで	336	164	371	94	466	183	234	394	2,242
21 年度	10	6	9	1	21	4	5	17	73
22 年度	9	2	5	3	24		7	11	61
23 年度	7	5	8	4	8	6	10	13	61
24 年度	13	3	8	2	11	5	3	14	59
25 年度	8	2	17	2	10	6	2	12	59
合 計	383	182	418	106	540	204	261	461	2,555

(3) 用途別防火管理者資格取得状況 (過去 5 年間)

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

項 目		年度別				
		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
1	イ 劇場等					
	ロ 集会場等	3				1
2	イ キャバレー等					
	ロ 遊技場等	2	1		1	2
	ハ 風営法店舗等					
3	イ 料理店等					
	ロ 飲食店		3	2		2
4	百貨店等	3	8		3	11
5	イ 旅館等	1			2	
	ロ 共同住宅等					
6	イ 病院等		1		2	
	ロ 老人短期入所施設等	13	13	13	12	15
	ハ 老人デイサービスセンター等	8	6	8	7	2
	ニ 特別支援学校等					
7	学 校 等	11	1	3	12	1
8	図 書 館 等					
9	イ 蒸気浴場等					
	ロ 一般浴場		1	1		
10	車 両 停 車 場					
11	神 社 等					
12	イ 工 場 等	10	2	7	4	5
	ロ スタジオ等					
13	イ 車 庫 等					
	ロ 特殊格納庫					
14	倉 庫	2		1		
15	前各項以外	18	21	22	14	16
16	イ 特定用途複合	2	3	4	2	4
	ロ イ以外複合		1			
合 計		73	61	61	59	59

■ 特定防火対象物

(4) 防火対象物定期点検報告対象物数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

項 目		第 1 号対象物数	第 2 号対象物数	合 計	特例認定数
1 項	イ 劇 場 等				
	ロ 集 会 場 等	6		6	2
2 項	イ キャバレー等				
	ロ 遊 技 場 等	7		7	
	ハ 風 営 法 店 舗 等				
	ニ カ ラ オ ケ 等				
3 項	イ 料 理 店 等				
	ロ 飲 食 店	3		3	
4 項	百 貨 店 等	13		13	1
5 項イ	旅 館 等	3	1	4	
6 項	イ 病 院 等	2		2	1
	ロ 老 人 短 期 入 所 施 設 等	1		1	
	ハ 老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等				
	ニ 特 別 支 援 学 校 等				
9 項イ	蒸 気 浴 場 等				
16 項イ	特 定 用 途 複 合	5		5	
16 の 2 項	地 下 街				
合 計		40	1	41	4

第 1 号対象物：収容人員が 300 人以上の防火対象物

第 2 号対象物：収容人員が 30 人以上 300 人未満の防火対象物で、次の要件に該当するもの

1. 特定用途部分が地階又は 3 階以上に存するもの
2. 階段が二以上設けられていないもの

4. 危険物関係事務

(1) 危険物施設状況及び査察延回数

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

区分	市町別		曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町	合計	査察 延回数
	大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町					
製 造 所	1								1		
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	1		3	1	1		2	8		
	屋外タンク貯蔵所	21	4	29	4	22	21	31	132	48	
	屋内タンク貯蔵所	1				1		1	3	1	
	地下タンク貯蔵所	7	1	9	1	20	17	13	68	20	
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	5	4	16	2	15	6	20	68	8	
	屋外貯蔵所	1	1						2		
取 扱 所	給油取扱所	営業用	11	7	17	8	14	11	14	82	28
		自家用	5	6	10	1	16	7	9	54	14
	第1種販売取扱所										
	第2種販売取扱所						1		1		
	移送取扱所										
一般取扱所	11	4	13	1	20	13	13	13	75	28	
合 計	64	27	97	18	109	76	103	494	147		

(2) 指定数量別危険物施設状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分 倍 数	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5 倍以下	1	3	39	3	21		39	1	3				47	157
5 倍を超え 10 倍以下		4	34		22		6	1	10				16	91
10 〃 50 〃		1	51		24		16		47		1		12	152
50 〃 100 〃			6		1		7		30					44
100 〃 150 〃			2						22					24
150 〃 200 〃			1						12					13
200 〃 1000 〃			1						12					13
合 計	1	8	132	3	68		68	2	136		1		75	494

(3) 危険物施設許可等の状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

区 分	種 別	許 可		完 成 検 査		仮使用 承 認	水圧 検 査	水張 検 査	予防規 程認可
		設 置	変 更	設 置	変 更				
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								
	屋外タンク貯蔵所	3	1	3	2	2			
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所		1		1				
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	1	1	1	1				
	屋 外 貯 蔵 所								
取 扱 所	給油取扱所	営業用	15		16	14	9		6
		自家用	1	3	1	3	2		
	第 1 種販売取扱所								
	第 2 種販売取扱所								
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	3	5	4	5	3			
合 計		8	26	9	28	21	9		6

水圧検査には、ガス加圧法検査 9 件を含む。

(4) 危険物関係諸届出状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

区 分	月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		危険物保安監督者 選任・解任届出	3	1	3	5	2	5	2		1	3	2	2
譲渡引渡届出			2				1						3	
種類・数量変更届出			3				1					1	5	
廃止届出	1						1	1	2	1	4	1	1	12
記載事項変更届出	6	1	2	8						2	1		20	
使用・休止開始届出							1						1	
工事施工届出		1		1		3		5	1	3	2	1	17	
仮貯蔵・仮取扱承認申請	5	1	4	3	3	4	2	2	4	3	3	2	36	
合 計		15	4	14	17	5	14	7	9	7	15	9	7	123

5. 広 報

1 火災予防運動

平成 25 年度全国統一防火標語 **消すまでは 心の警報 ON のまま**

(1) 秋季火災予防運動（平成 25 年 11 月 9 日～15 日）

秋季火災予防運動は、「119 番の日」（11 月 9 日）からの 1 週間、下記のとおり行事を実施した。

ア 高齢単身世帯、高齢夫婦世帯等防火診断

住宅火災抑止策の一環として、住宅における出火未然防止のため、主に高齢単身世帯・高齢夫婦世帯等災害弱者家庭を訪問、「住宅防火診断」を実施し、各家庭の防火安全指導を行った。

イ 予防査察

火災予防運動にあわせて、飲食店・物品販売店舗・病院・社会福祉施設等の防火対象物について特別査察を行うとともに、不備欠陥事項については強く改善を指導、火災発生の未然防止を図った。

ウ 避難訓練

各種施設・各事業所・学校等の消火及び避難訓練を支援し、福祉施設・病院等については「夜間における防火管理体制マニュアル」に基づいた検証を実施、防火安全対策の徹底を図った。

エ 防火講話・防火指導

地域の住民に対して、防火講話及び消火器取扱い訓練を実施して、火災予防啓発を図った。

オ 消防団との合同訓練

各消防署においては、管轄各市町消防団と火災・地震・がけ崩れ等の災害発生に際し、お互いに緊密な連携を保ちながら、災害対策が迅速・適切に行われるよう防災体制の確立を図ることを目的に、協同して訓練を実施した。

カ 広報活動

横断幕設置・各市町有線放送・防災行政無線・オフトーク通信により出火防止啓発を促すとともに、消防車両による巡回広報を随時行い、防火意識の高揚を図った。

キ ポケットティッシュの作成と配布

鹿児島県が実施する「平成 25 年度火災予防推進事業」の補助金を活用して、住宅用火災警報器の設置促進を訴えるポケットティッシュを作成し、管内で実施されたイベントの会場、大型店舗、及び防火講話等で地域住民にポケットティッシュを配布した。

ク 多数の観客などが参加する行事における火災予防指導

各種イベント会場に出店した露店等に対して、火気器具を使用する場合の事故防止対策及び火災予防上の指導を行った。

ケ 親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署（平成 25 年 11 月 17 日）

志布志消防署を一般開放し、消防・救助展示訓練、はしご車の体験搭乗、AED 取扱い訓練及び車両・パネル展示等を行い、消防業務全般について広報活動を図った。

(2) 春季火災予防運動（平成 26 年 3 月 1 日～7 日）

春季火災予防運動は、3 月 1 日からの 1 週間、下記のとおり行事を実施した。

ア 高齢単身世帯、高齢夫婦世帯等防火診断

住宅防火対策の一環として高齢単身世帯，高齢夫婦世帯等災害弱者家庭を訪問，「住宅防火診断」を実施し，火気使用状況・器具の点検を行い出火危険の排除・防火指導を行った。

イ 社会福祉施設・病院等における避難訓練，防火指導

自力避難が困難な者が多数入所している福祉施設・病院については，「夜間における防火管理体制マニュアル」に基づいた訓練を，さらに保育園・老人クラブ等については防火ビデオ・講話等を通じて火災予防の認識高揚を図った。

ウ 消防団との合同訓練

各消防署においては，管轄各市町消防団と火災・地震・がけ崩れ等の災害発生に際し，お互いに緊密な連携を保ちながら，災害対策が迅速・適切に行われるよう防災体制の確立を図ることを目的に，協同して訓練を実施した。

エ 広報活動

横断幕設置・各市町有線放送・防災行政無線・オフトーク通信により出火防止啓発を促すとともに，消防車両による巡回広報を行った。

なお，枯れ草焼却等火入れの時季に，林野・その他火災の発生を未然に防止するため管内を巡視し，火災警戒を行った。

オ 防火対象物定期点検報告制度の周知徹底

関係者に対して，本制度の趣旨，内容等の周知徹底及び報告実施の促進を図った。

2 危険物車両（タンクローリー等）立入検査

平成 25 年 11 月に危険物車両に対する立入検査を実施し，危険物災害の未然防止に努めた。（道路上での立入検査については，管内の警察署と合同で実施する。）

種 別	場 所			計
	曾 於 市 国 道 1 0 号 線	志 布 志 市 県 道 6 3 号 線	常 置 場 所	
危険物車両	5	2	6	13

3 救急指導・防火講話・避難訓練等指導状況

各事業所・学校・地域住民等を通じて救急指導や防火講話及び消火器取扱い訓練等を実施して，火災予防啓発を図った。

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

区 分	回 数	対 象 者 数（人）
救 急 指 導	142	3,994
防 火 講 話 ・ 避 難 訓 練 等	305	23,307
合 計	447	27,301

4 住宅防火診断状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

署 所 別	住宅防火診断 (件)
曾於消防署管内 (大隅町・末吉町・松山町)	281
財部分署管内 (財部町)	378
志布志消防署管内 (志布志町・有明町・大崎町)	289
合 計	948

6. 消防協力団体等

1 曾於地区危険物安全協会

会員相互の融和親睦を図り危険物の取扱い管理の向上と災害防止に努め、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

- (1) 会員数：102事業所（平成26年4月1日現在）
- (2) 会長：市ヶ谷 誠 副会長：亀田 政博
- (3) 協会の活動

- ア 危険物取扱者試験受験準備講習会（年2回実施）
- イ 危険物取扱者保安講習会（法定講習）
- ウ 先進地視察研修
- エ 各種広報活動（広報のぼり掲揚，広報誌発行）
- オ 優良事業所等の表彰
- カ 普通救命講習会への参加推進

2 大隅曾於地区住宅防火対策推進連絡会

住宅防火対策を総合的かつ効果的に推進し、もって火災の未然防止及び火災による被害の軽減を図ることを目的とする。

3 大隅曾於地区少年婦人防火委員会

少年消防クラブ及び婦人防火クラブの組織を拡大・強化し、もって地域社会全般及び家庭を中心とした防火防災体制並びに防火思想の高揚を図ることを目的とする。

4 幼年消防クラブ

幼年者に消防研修を行い、火に対する正しいしつけを身につけさせ、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

- (1) クラブ結成状況 （平成26年4月1日現在）

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
おおつき（正心保育園）幼年消防クラブ	S56.12.1	22名	曾於市大隅町
カトリック志布志幼稚園幼年消防クラブ	H4.11.11	15名	志布志市志布志町

- (2) クラブの活動

- ア 幼年消防として必要な消防研修
- イ 火災予防に関する広報活動

5 少年消防クラブ

少年少女に対して明朗で活発な気風を育成し、併せて火災予防の普及徹底及び一般防火思想の向上を図り、少年少女の教育に寄与することを目的とする。

(1) 少年消防クラブ結成状況 (平成26年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
山重小少年消防クラブ	S56. 8. 11	12名	志布志市有明町

(2) クラブの活動

- ア 規律訓練活動を通じ、日常の礼儀作法及び正しい姿勢並びに体力づくり
- イ 救急処置勉強会、消火訓練
- ウ 研修、見学及びレクリエーション
- エ 火災予防活動

6 大隅曾於地区婦人防火連絡協議会

各家庭の婦人として火災予防の認識を高め、火災を未然に防止して住民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

7 婦人防火クラブ

(1) 婦人防火クラブ結成状況 (平成26年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
蓬原中野婦人防火クラブ	S55. 7. 12	H22年度から活動休止中	志布志市有明町

(2) クラブの活動

- ア 婦人防火教室の開催（救急処置講習等）
- イ 各種訓練の実施（規律訓練・消火訓練・ポンプ操法等）
- ウ 各種研修会、式典への参加
- エ 火災予防活動

8 南九州畜産興業株式会社自衛消防隊研修

自衛消防隊教育（35回目）

研修人員：8名（男性：6名，女性：2名）

期 間：平成25年5月20日（月）～平成25年5月24日（金）

研修内容：規律訓練・小型ポンプ操法・想定訓練・普通救命講習

火災状況

1. 火災の概況
2. 火災の原因
3. 火災発生状況比較（出火率）
4. 気象概況



1. 火災の概況

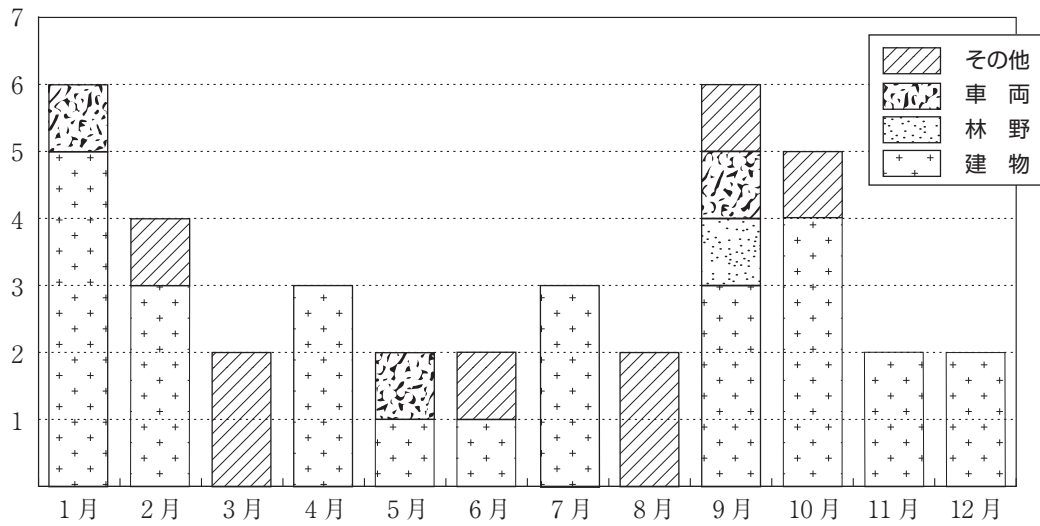
(1) 火災概況の前年比較

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

区 分	平 成 2 5 年	平 成 2 4 年	前年との比較 (△減)	
火災件数	建 物	27	38	△ 11
	林 野	1	2	△ 1
	車 両	3	3	0
	船 舶			
	そ の 他	8	6	2
	計	39	49	△ 10
焼損棟数	全 焼	21	40	△ 19
	半 焼	2	4	△ 2
	部 分 焼	15	20	△ 5
	ぼ や	17	10	7
	計	55	74	△ 19
り災世帯	全 損	7	16	△ 9
	半 損	2		2
	小 損	16	14	2
	計	25	30	△ 5
り 災 人 員	55	60	△ 5	
死 者	2	2	0	
負 傷 者	7	6	1	
焼損面積	建 物			
	床面積 (㎡)	2,677	5,332	△ 2,655
	表面積 (㎡)	34	515	△ 481
林 野 (a)	7	18	△ 11	
焼 損 車 両 (台)	7	11	△ 4	
損害額 (千円)	建 物	178,632	190,923	△ 12,291
	林 野	162	115	47
	車 両	547	3,387	△ 2,840
	船 舶			
	そ の 他	2,722	519	2,203
	計	182,063	194,944	△ 12,881

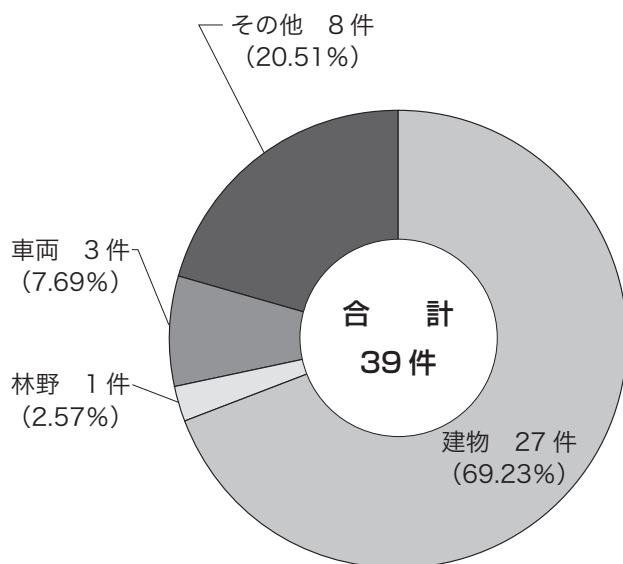
(2) 月別火災発生状況

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

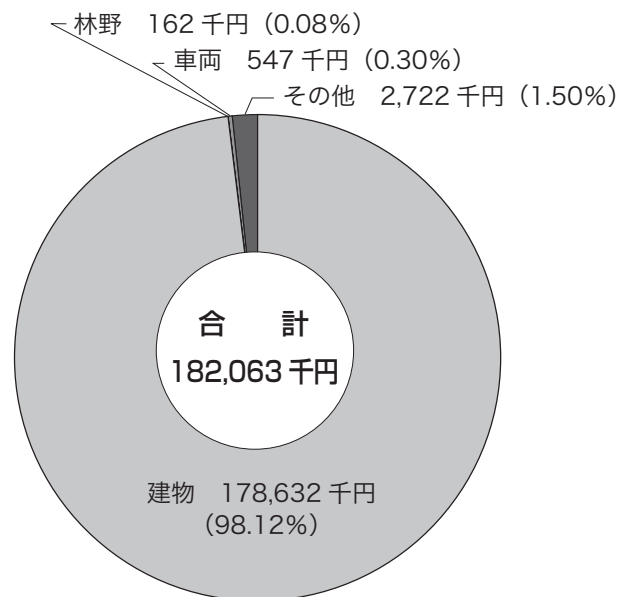


月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月 計	6	4	2	3	2	2	3	2	6	5	2	2	39
建 物	5	3		3	1	1	3		3	4	2	2	27
林 野									1				1
車 両	1				1				1				3
その他		1	2			1		2	1	1			8

(3) 火災種別件数



(4) 火災種別損害額



(5) 市町別火災概況

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

区 分	市町別		計	曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町
				大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町	
火 災 件 数	建 物		27	5	5	6	1	5	3	2
	林 野		1							1
	車 両		3			1			1	1
	船 舶		0							
	そ の 他		8	2		1		1	4	
	計		39	7	5	8	1	6	8	4
焼 損 棟 数	全 焼		21	4	2	9	1		4	1
	半 焼		2	1					1	
	部 分 焼		15	5	1	5	1	3		
	ほ や		17	2	3	6		3	1	2
	計		55	12	6	20	2	6	6	3
り 災 世 帯	全 損		7	1	1	4			1	
	半 損		2	1				1		
	小 損		16	2	1	9		2	1	1
	計		25	4	2	13		3	2	1
り 災 人 員		55	6	7	27		5	9	1	
死 者		2			1				1	
負 傷 者		7	1	2	2		1	1		
焼 損 面 積	建 物	床面積 (㎡)	2,677	781	253	404	12	4	820	403
		表面積 (㎡)	34	2	7	11	1	12		1
	林 野 (a)		7							7
焼損車両 (台)		7			1			5	1	
損 害 額 (千円)	建 物		178,632	15,867	13,043	21,846	128	112	53,270	74,366
	林 野		162							162
	車 両		547			89			357	101
	船 舶									
	そ の 他		2,722	26				144	2,552	
	計		182,063	15,893	13,043	21,935	128	256	56,179	74,629

(6) 月別・時間別火災発生件数

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

月別 時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
0～1													
1～2													
2～3									1				1
3～4													
4～5													
5～6	1												1
6～7													
7～8	1												1
8～9	1								1		1		3
9～10							1		1				2
10～11			1	1	1								3
11～12			1							1			2
12～13							1		2	1			4
13～14													
14～15								1		1			2
15～16		1					1	1					3
16～17		1							1			1	3
17～18	2					1						1	4
18～19		1		1									2
19～20		1		1	1					1			4
20～21													
21～22										1	1		2
22～23	1					1							2
23～24													
不 明													
小 計	6	4	2	3	2	2	3	2	6	5	2	2	39

(7) 気象別火災発生件数

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

月別 気象		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		天 気	晴	4	2		3	2		3	2	5	4	1
曇	2		1	2			1				1	1	1	9
雨			1				1			1				3
雪														
小計	6		4	2	3	2	2	3	2	6	5	2	2	39
風 速 m /s	無風	2	1			1				2			1	7
	1	4	1		2						2	1		10
	2			1	1	1	2	2	1	2		1		11
	3		2	1				1		1			1	6
	4								1		1			2
	5									1	2			3
	6													
	7													
	8 m 以上													
	小計	6	4	2	3	2	2	3	2	6	5	2	2	39
風 向	無風	2	1			1				2			1	7
	東	1								1		1		3
	西		1		2			1		1				5
	南	1	1	2	1			1	1					7
	北	1	1				2	1		1	4	1	1	12
	北東	1								1	1			3
	北西													
	南東													
	南西					1			1					2
	小計	6	4	2	3	2	2	3	2	6	5	2	2	39

2. 火災の原因

原因別	年別	23年	24年	25年	原因別	年別	23年	24年	25年
たばこ		3	3	2	配線器具		2	2	
こんろ		4	1	3	交通機関内配線			2	
かまど		1	1		火あそび		1		1
風呂かまど			3	3	マッチ・ライター			1	
炉					たき火			2	2
焼却炉					溶接機・切断機		1		1
ストーブ		1	2	3	灯火		2	1	
こたつ					衝突の火花				
ボイラー				1	取灰			2	
煙突・煙道			1	1	火入れ		4	3	4
排気管		3		1	放火		1		1
電気機器		1	4		放火の疑い		2		1
電気装置				2	その他		7	8	5
電灯・電話等配線		3	6	4	不明		8	7	3
内燃機関				1	計		49	48	39

管内の出火原因の主なものは、こんろ、風呂かまど、ストーブ、電灯、電話等配線、火入れが上位を占めている。

3. 火災発生状況比較（出火率）

（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

区分	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	出火率
全国	48,028	25,015	2,015	4,575	91	3	16,329	3.74
鹿児島県	787	361	45	51	4		326	4.63
管内	39	27	1	3			8	4.53

出火率：人口1万人当たりの出火件数をいう。

4. 気 象 概 況

(1) 管内の気象注意報及び気象警報等

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

区分		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
気 象 注 意 報	風 雪													
	強 風	5	2	1	3	2	2			6	18	4	9	52
	大 雨						3	5	4	2	3			17
	大 雪													
	濃 霧													
	雷		1		1	1	4	4	8	6	5	9		39
	乾 燥	10	4	2	2	5	1			7	5	8		44
	霜													
	高 潮													
	波 浪				3	4	4	1	2		20	4	4	42
	洪 水								3	2	3			8
津 波														
気 象 警 報	暴 風													
	大 雨								3				3	
	大 雪													
	高 潮													
	波 浪													
	洪 水									1				1
	津 波													
火災気象通報		11	7	4	6					2	3		1	34
火 災 警 報														

(2) 曾於地区

区分		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天気	快 晴													
	晴	17	15	19	21	21	4	17	19	21	23	17	17	211
	曇	11	9	9	3	6	15	10	9	5	4	11	11	103
	雨	3	4	3	6	4	11	4	3	4	4	2	3	51
	その他													
風速	2 m以下	13	9	12	5	5	11	6	6	4	3	4	7	85
	5 m以下	15	18	17	21	21	10	25	20	14	18	10	6	195
	10 m以下	2	1	1	4	5	8	25	5	12	9			72
	20 m以下													
	20 m以上													
最多風向		NW	NW	NW	W	E	E	W	NW	E	E	NW	NW	
降雨量	一日最高	1	9	11	5	3	80		8	22	8	5	1	
	月 計	2	19	12	13	7	113		14	23	8	6	2	219
気温	最 高	9	16	18	21	24	28	28	29	28	27	19	11	
	最 低	-1	-2	5	8	13	17	21	24	20	15	4	2	
湿度	最 低	32	42	34	39	38	72	63	51	57	50	62	52	
	平 均	70	70	73	68	68	83	86	83	76	73	74	77	(庁舎屋上)

(3) 志布志地区

区分		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天気	快 晴	2	1		2	15		6		1			2	29
	晴	16	15	15	15	6	8	16	22	18	16	17	25	189
	曇	12	7	9	9	6	9	8	2	6	10	11	4	93
	雨	1	5	7	7	4	13	1	7	5	5	2	3	60
	その他													
風速	2 m以下	7	4	6	10	4	10	13	3	6	6	4	19	92
	5 m以下	21	17	22	22	25	16	17	23	20	20	22	12	237
	10 m以下	3	7	3	3	2	4	1	5	4	4	4		40
	20 m以下				1									1
	20 m以上				1									1
最多風向		NW	NW	NW	SE	SE	NE	SW	SW	NW	NE	NW	NW	
降雨量	一日最高	46	37	22	10	7	121	17	62	47	21	26	7	
	月 計	76	184	62	25	21	663	33	144	64	57	57	57	1,443
気温	最 高	14	20	22	22	29	31	36	34	30	28	24	20	
	最 低	5	7	13	16	20	21	27	29	20	18	13	11	
湿度	最 低	20	15	25	20	20	20	34	30	32	30	25	32	
	平 均	35	40	48	42	40	56	58	44	45	44	41	40	(車庫内)

救助状況

1. 救助の概況



1. 救 助 の 概 況

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

市町別 区分		管内 合計		曾 於		市		志 布 志 市		曾 大		管							
				大 隅 町		財 部 町		末 吉 町		松 山 町		志 布 志 町		有 明 町		於 崎 郡 町		外	
		25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年	25 年	24 年
出 動 件 数		74	50	18	6	3	5	14	10	5	1	18	11	6	10	9	3	1	4
火 災	建 物																		
	建物以外																		
交 通 事 故		50	39	13	4	2	5	11	7	2	1	11	5	4	10	6	3	1	4
水 難 事 故		4	2	2					1	1		1	1						
自 然 事 故																			
機 械 事 故		5	4	1				1	1	1		1	3			1			
建 物 事 故																			
ガ ス 酸 欠																			
爆 発 事 故																			
そ の 他		15	5	2	2	1		2	1	1		5	2	2		2			
要救助者傷病程度及び人員	死 亡	7	2	1						1		4	1			1			1
	重 症	16	14	5	2		2	3	2	1		3	4	1	2	3	1		1
	中 等 症	9	3	4		1			3	1		1				2			
	軽 症	6	4	3					2				1	1	1	2			

平成 25 年の出動件数は 74 件で、平成 24 年の 50 件と比較すると 24 件の増加である。事故種別では、交通事故の 50 件 (68%) が最も多く、次にその他の 15 件 (20%) である。

救急状況

1. 月別救急出場件数
2. 事故種別搬送人員
3. 年齢別搬送人員
4. 市町別救急出場状況
5. 救急覚知状況
6. 傷病の程度
7. 収容所要時間状況
8. 曜日別出場状況
9. 急病の疾病別搬送人員
10. 発生時刻別出場状況
11. 収容先医療機関の所在地調べ
12. 電話転送回数状況
13. 転送者に関する調べ
14. 普通救命講習受講者調べ



1. 月別救急出場件数

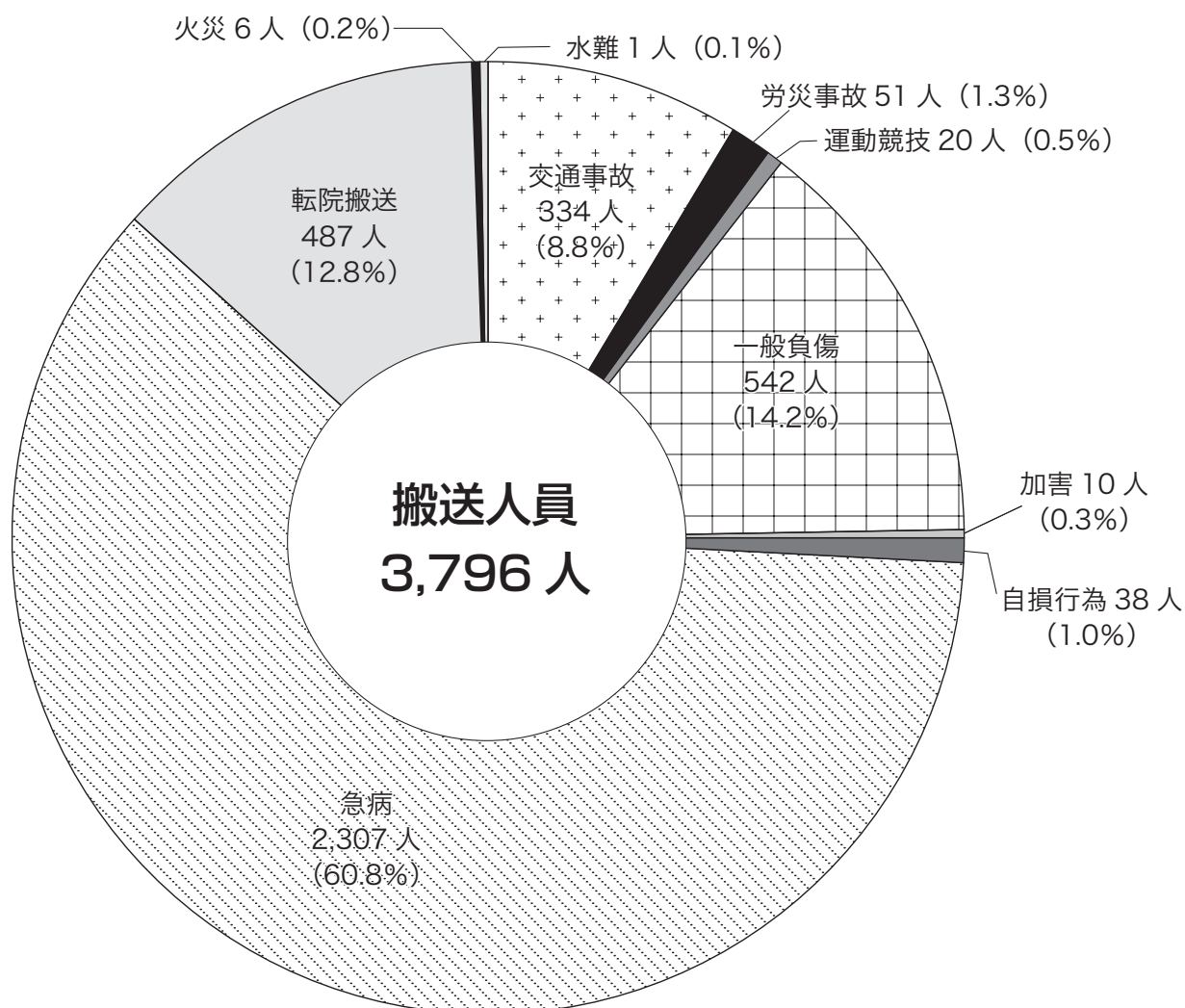
平成 25 年の出場件数は、3,991 件（1 日平均 11 件）で、前年の 3,802 件と比較すると 189 件増加、搬送人員は、3,796 人で前年より 146 人増加した。

なお、事故種別では、急病 2,455 件（61.5%）が最も多く、次に一般負傷 557 件（14.0%）、転院搬送 487 件（12.2%）、交通事故 336 件（8.4%）の順となっている。

事故種別	月別												平成 25 年	平成 24 年	平成 23 年	
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月				
火 災	1			1				1	2			1	6	5	3	
自然災害																
水 難					1								1	2	3	
交通事故	19	15	36	24	26	34	39	38	18	36	28	23	336	319	352	
労働災害	1	5	6	6	4		8	7	8	1	4	1	51	43	48	
運動競技	1		1			2	3	2	8	1	1	1	20	15	30	
一般負傷	45	46	35	40	42	39	56	55	50	55	52	42	557	511	430	
加 害	2		1	1	2		1	2		1	1		11	11	15	
自損行為	4	3	4	7	6	7	7	5	5	3	5	4	60	50	42	
急 病	249	195	208	199	177	165	217	230	191	186	214	224	2,455	2,381	2,375	
そ の 他	転院搬送	47	43	45	39	36	41	36	39	43	29	43	46	487	459	505
	医師搬送													3		
	資機材等 輸 送															
	その他				1	1		2	1		1		1	7	3	6
出 場 件 数	369	307	336	318	295	288	369	380	325	313	348	343	3,991	3,802	3,809	
不搬送件数	20	14	23	12	9	24	20	21	8	18	24	28	221	192	213	

2. 事故種別搬送人員

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)



3. 年齢別搬送人員

年齢	生後 28 日以内 (新生児)	満 7 歳未満 (乳幼児)	満 18 歳未満 (少年)	満 65 歳未満 (成人)	満 65 歳以上 (老人)	合計
人員	2	129	131	1,160	2,374	3,796

4. 市町別救急出場状況

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

事故種別 市町別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				平成25年	不搬送	平成24年	
												転院搬送	医師搬送	資器等器材送	その他				
曾於市	大隅町	件数	1		50	6	5	83		5	329	101				580	16	560	
		人員	1		50	6	5	83		4	319	101				569		540	
	財部町	件数	1			22	2	2	53	1	6	244	55			386	19	374	
		人員	1			20	2	2	53	1	4	230	55			368		357	
	末吉町	件数	2			73	6	4	109	2	11	502	100			1	810	47	792
		人員	2			71	6	4	104	1	5	475	99				767		749
志布志市	松山町	件数			10	1		26		3	75	5				120	9	134	
		人員			11	1		24		3	68	5				112		128	
	志布志町	件数	1		1	75	19	4	126	1	12	590	80			3	912	65	848
		人員	1		1	79	19	4	121	1	10	539	80			1	856		826
	有明町	件数	1			38	5	4	50	3	5	275	77			2	460	22	443
		人員	1			36	5	4	50	3	3	259	77				438		428
曾大於崎郡町	件数				65	12	1	110	4	18	440	69			1	720	41	642	
	人員				66	12	1	107	4	9	417	69				685		617	
その他	件数				3										3	2	9		
	人員				1										1		5		
合計	件数	6		1	336	51	20	557	11	60	2,455	487			7	3,991	221	3,802	
	人員	6		1	334	51	20	542	10	38	2,307	486			1	3,796		3,650	

件数は出場件数、人員は搬送人員をいう。

5. 救急覚知状況

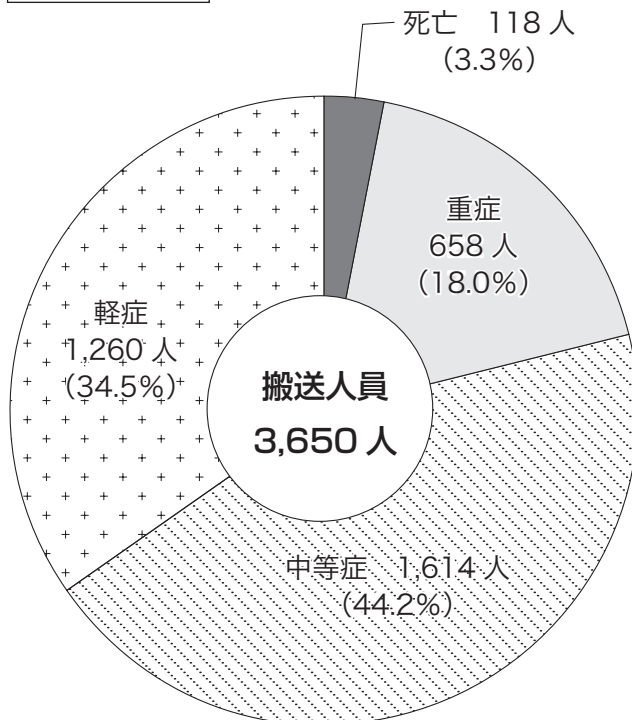
(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

覚知方法	件数	比率 (%)
1 1 9	2,195	55.0
携 帯 1 1 9	980	24.6
加 入 電 話	734	18.3
か け 付 け	16	0.4
自 己 覚 知	44	1.1
そ の 他	22	0.6
合 計	3,991	100

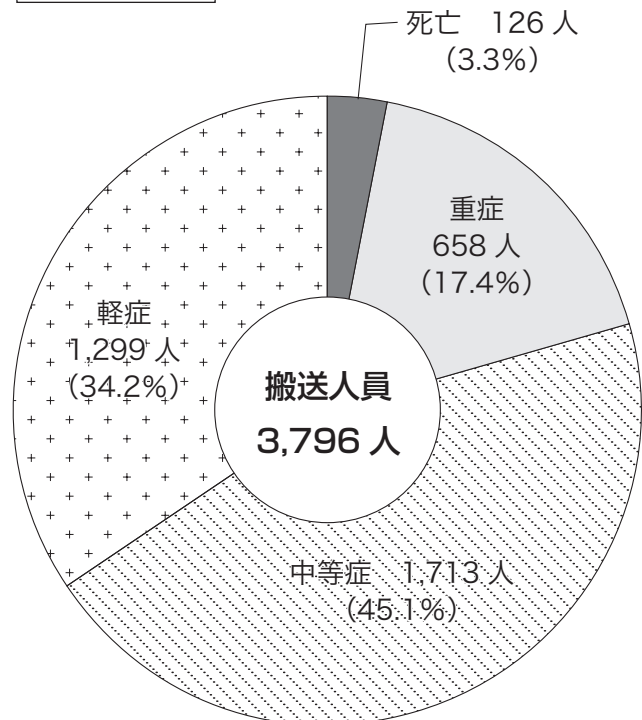
6. 傷病の程度

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

平成 24 年中



平成 25 年中



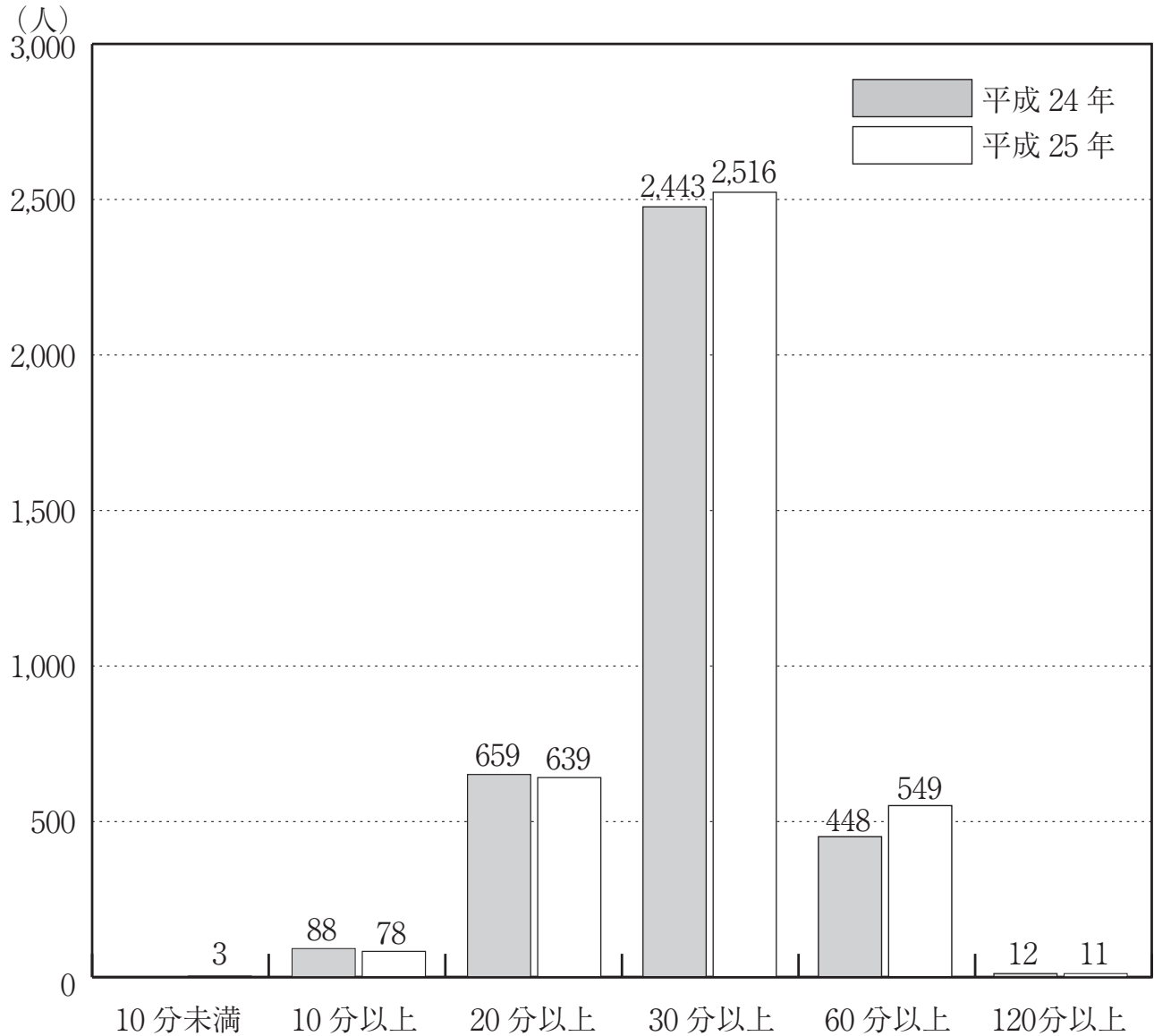
重 症：傷病程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの

中 等 症：傷病程度が重症又は軽症以外のもの

軽 症：傷病程度が入院加療を必要としないもの

7. 収容所要時間状況

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

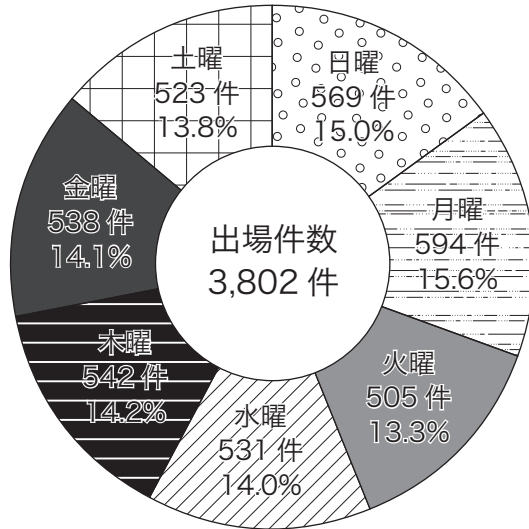


区分 年別	計 (人)	10分未満	10分以上 ＼ 20分未満	20分以上 ＼ 30分未満	30分以上 ＼ 60分未満	60分以上 ＼ 120分未満	120分以上
平成25年	3,796	3	78	639	2,516	549	11
平成24年	3,650		88	659	2,443	448	12

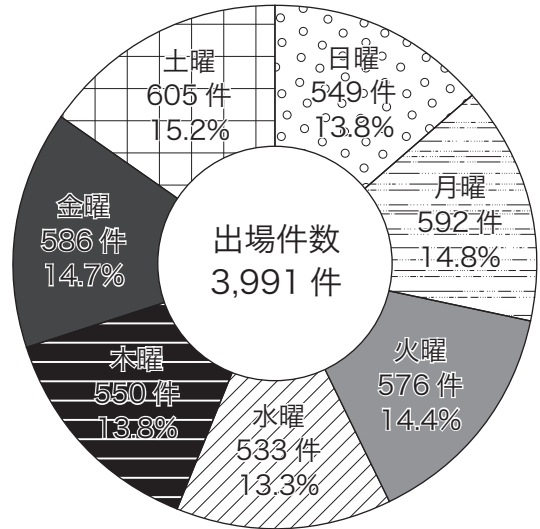
8. 曜日別出場状況

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

平成24年中



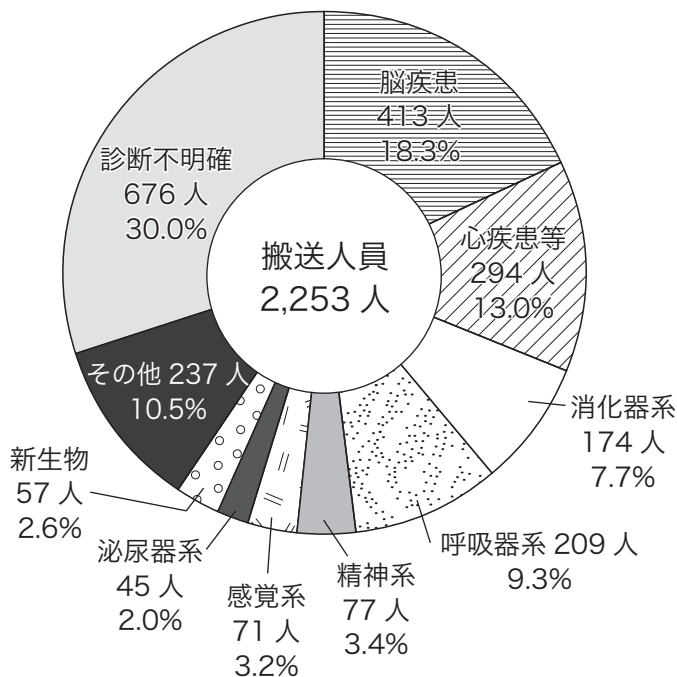
平成25年中



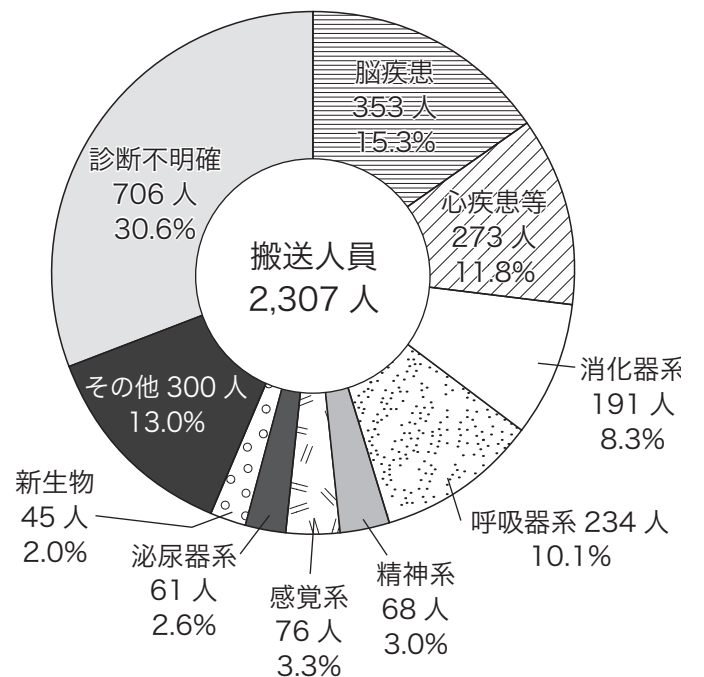
9. 急病の疾病別搬送人員

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

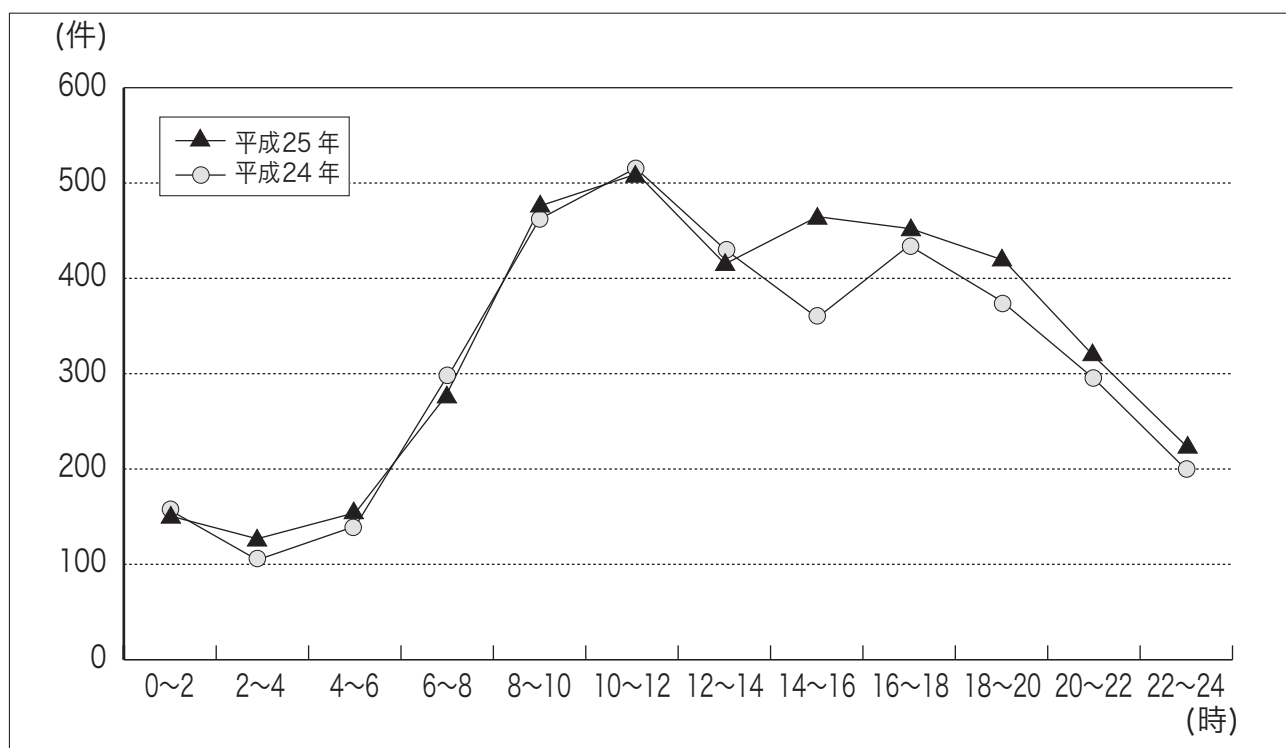
平成24年中



平成25年中



10. 発生時刻別出場状況



(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

事故種別	時間 合計	時間												
		0 } 2	2 } 4	4 } 6	6 } 8	8 } 10	10 } 12	12 } 14	14 } 16	16 } 18	18 } 20	20 } 22	22 } 24	
合計	3,991	153	127	154	280	472	510	417	466	451	414	319	228	
火災	6					1	1	1	1	1		1		
自然災害														
水難	1								1					
交通事故	336	12	5	11	36	37	36	36	52	53	34	15	9	
労働災害	51	1			1	5	9	10	9	12	2	1	1	
運動競技	20						3	6	7	2	1	1		
一般負傷	557	13	17	14	36	71	68	57	64	75	61	47	34	
加害	11	3	2							1	1	1	3	
自損行為	60	3	1	4	6	10	8	6	1	5	6	6	4	
急病	2,455	119	99	124	199	281	257	220	249	235	275	234	163	
その他	転院搬送	487	2	3	1	2	66	127	80	80	66	34	13	13
	医師搬送													
	資器材等輸送													
	その他	7					1	1	1	2	1			1

11. 収容先医療機関の所在地調べ

(1) 事故種別 (人員)

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

地区別 事故種別	管内	都城市	鹿屋市 肝属郡	鹿児島市	宮崎市 串間市	霧島市 始良市	その他	計
火災	1	4		1				6
自然災害								
水難					1			1
交通事故	177	95	44	13	4	1		334
労働災害	23	10	9	7		2		51
運動競技	13	6	1					20
一般負傷	319	133	74	11	1	4		542
加害	5	2	3					10
自損行為	21	9	8					38
急病	1,304	570	396	4	12	21		2,307
転院搬送	152	127	172	21	9	5		486
その他		1						1
合計	2,015	957	707	57	27	33		3,796
比率 (%)	53.1%	25.2%	18.6%	1.5%	0.7%	0.9%		100%

(2) 署・分署・分駐所別 (人員)

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

地区別 署・分署・分駐所別	管内	都城市	鹿屋市 肝属郡	鹿児島市	宮崎市 串間市	霧島市 始良市	その他	計
曾於消防署	512	217	49	16	3	15		812
末吉救急分駐所	217	334	12	7	0	4		574
財部分署	80	331	0	3	2	12		428
志布志消防署	772	63	284	19	16	1		1,155
大崎救急分駐所	434	12	362	12	6	1		827
合計	2,015	957	707	57	27	33		3,796

12. 電話転送回数状況

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

転送回数	0	1～3	4～6	7～10	11～15	16以上	合 計
搬送人員	3,271 (86.2%)	464 (12.2%)	39 (1.0%)	16 (0.4%)	6 (0.2%)		3,796 (100%)

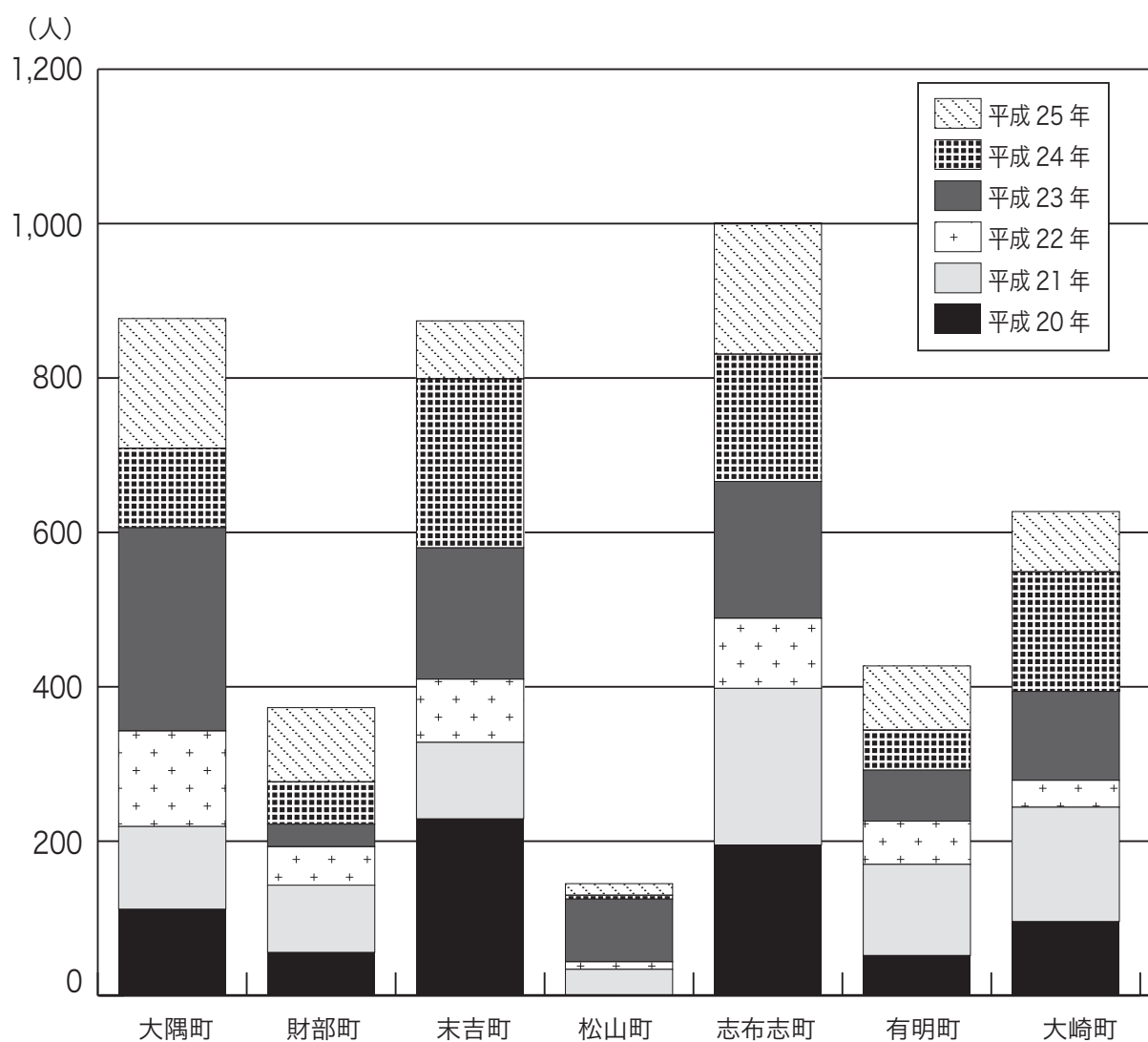
電話転送回数0回とは、消防署が収容先を1件目で手配したもの及び傷病者、家族、要請病院等が収容先をすでに手配済のものをいう。

13. 転送者に関する調べ

(平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

事故種別	転送理由 人 員	転 送 理 由					
		ベット満床	専門外	手術中	処置困難	理由不明	その他
交 通 事 故	1				1		
一 般 負 傷	7		2		5		
急 病	19		12		7		
そ の 他	3		1		2		
合 計	30		15		15		

14. 普通救命講習受講者調べ



市町別 年別	曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町	計
	大 隅 町	財 部 町	末 吉 町	松 山 町	志布志町	有 明 町		
平成 25 年	168	96	75	15	170	83	78	685
平成 24 年	103	55	219	5	165	52	155	754
平成 23 年	263	29	170	81	177	66	115	901
平成 22 年	124	50	82	10	91	56	35	448
平成 21 年	107	87	99	33	203	118	148	795
平成 20 年	112	56	229	1	195	52	96	741
計	877	373	874	145	1,001	427	627	4,324

消 防 団

1. 管内消防団現勢
2. 消防団員の年齢及び在職年数
3. 消防団員の報酬及び費用弁償
4. 消 防 水 利
5. 消 防 団 支 援 状 況



1. 管内消防団現勢

(1) 人員及び機械の状況

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

区 分 市町別		人 員		機 械					
		定 員	現 員	指揮車	タンク車	ポンプ車	積載車	小型動力 ポンプ	運搬車
曾 於 市	大隅方面隊	245	230	1	1	6	9	19	6
	財部方面隊	155	155	1	2	4	7	8	1
	末吉方面隊	220	217	1	1	2	10	16	3
	小 計	620	602	3	4	12	26	43	10
志 布 志 市	松山方面隊	90	90	1		3	8	8	
	志布志方面隊	242	216	1	4	2	9	19	1
	有明方面隊	148	147	1		4	9	9	
	小 計	480	453	3	4	9	26	36	1
曾於郡大崎町		240	233	1	2	3	13	18	
合 計		1,340	1,288	7	10	24	65	97	11



(2) 消防団幹部一覽表

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

区分 市町別	団 長	方面隊長格 副 団 長	方面副隊長格 副 団 長	分団名	分 団 長	分団名	分 団 長		
曾於市	戸島 啓文	岡留 保巳	川崎 三郎 中元 晃司	中央	吉元 公一	橋野	前原 一郎		
				櫛	米澤 和則	柿木	井之上 忠		
				高岡	大津 修	岩北	池之上洋一		
				岩南	村山 洋志	諏訪	田中 淳治		
				光神	石塚 芳仁	友常	稲留 勝裕		
				深川	新留 正明	柳迫	稲森 憲昭		
		吉岡 浩人	中迫 昭浩	中央	木場 博信	麓	牧之瀬喜博		
				菅牟田	永田幸八郎	笠木	中村 誠		
				北	田代 悟	神牟礼	持留 新一		
			岩寄 孝雄	恒吉	高田 悟	月野	佐々木健一郎		
				南	萩元 克久				
			落合 秀雄 野村 治雄	中央	竹之下康広	七村	前原 利広		
		宇都		新宮 裕一	南	東丸 浩二			
		北		丸田 安弘	中谷	引地 益夫			
		志布志市	尾上 鶴夫	松山方面隊 川上 渉	津曲 勝治	新 橋	脇田 祐二	泰 野	下曾小川省一
						尾野見	山下 幸二		
				志布志方面隊 末村 光博	持留 幸二	中 央	池吉 雅郎	安 楽	山元 祐一
						夏 井 陣 岳	吉原 隆広	帖五区	永吉 盛幸
森 山	岩坂 利宏					田之浦 四 浦	永吉 健一		
潤々野 八 野	迫田 安信								
有明方面隊 高原 光春	山床 輝文			第 1	牛原 兼男	第 2	小蓬 昭久		
				第 3	中原 春美	第 4	井戸 泰裕		
曾於郡 大崎町	前田 住男			比良 輝男 高瀬 幸雄		中央	本村 悟	持留	原田 義美
						大丸	福永 利雄	中沖	小村 重春
			野方		肥後 修	菱田	神崎 文男		

(3) 消防団各分団の人員・機械配置一覧表(全管内)

(平成26年4月1日現在)

市町別	方面	分 団 名	本部	中央	麓	菅牟田	笠木	北	神牟礼	恒吉	南	月野				計	
曾 於 市	大隅方面隊	現 員	3	25	30	20	21	33	21	26	22	29				230	
		指 揮 車	1														1
		タ ン ク 車			1												1
		ポンプ自動車		1	1		1	1		1		1					6
		積 載 車		1	1	1		1	1	1	1	1	2				9
		小型動力ポンプ		1	1	2	2	3	2	3	3	3	2				19
		運 搬 車				1	1	1	1	1	1	1					6
	財部方面隊	分 団 名	本部	中央	七村	宇都	南	北	中谷								計
		現 員	3	35	25	21	27	23	21								155
		指 揮 車	1														1
		タ ン ク 車		2													2
		ポンプ自動車		1	1	1			1								4
		積 載 車			1	1	2	2	1								7
		小型動力ポンプ			1	1	2	2	2								8
	運 搬 車		1													1	
	末吉方面隊	分 団 名	本部	中央	橋野	諏訪	檉	柿木	高岡	岩北	岩南	光神	友常	深川	柳迫		計
		現 員	3	36	16	16	18	16	16	15	16	18	16	15	16		217
		指 揮 車	1														1
タ ン ク 車			1													1	
ポンプ自動車			1			1										2	
積 載 車				1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
小型動力ポンプ			1	1	2	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	16	
運 搬 車		1				1				1					3		
志 布 志 市	松山方面隊	分 団 名	本部	新橋	泰野	尾野見										計	
		現 員	3	39	25	23										90	
		指 揮 車	1														1
		タ ン ク 車															0
		ポンプ自動車		1	1	1											3
		積 載 車		4	2	2											8
		小型動力ポンプ		4	2	2											8
	運 搬 車															0	
	志布志方面隊	分 団 名	本部	中央	安楽	夏井陣岳	帖五区	森山	田之浦四浦	瀬野八野							計
		現 員	2	33	34	27	21	26	30	43							216
		指 揮 車	1														1
		タ ン ク 車		2	1		1										4
		ポンプ自動車		2													2
		積 載 車		2		2		1	2	2							9
小型動力ポンプ			2	1	3	1	3	3	6							19	
運 搬 車		1													1		
有明方面隊	分 団 名	本部	第1	第2	第3	第4										計	
	現 員	2	35	40	35	35										147	
	指 揮 車	1														1	
	タ ン ク 車															0	
	ポンプ自動車		1	1	1	1										4	
	積 載 車		2	3	2	2										9	
	小型動力ポンプ		2	3	2	2										9	
運 搬 車															0		
曾 於 郡 大 崎 町	分 団 名	本部	中央	持留	大丸	中沖	野方	菱田	特設							計	
	現 員	3	42	25	25	24	43	34	37							233	
	指 揮 車	1														1	
	タ ン ク 車		1				1									2	
	ポンプ自動車		1				1	1								3	
	積 載 車		2	3	2	2	2	1	1							13	
	小型動力ポンプ		3	4	3	3	3	2								18	
運 搬 車															0		

2. 消防団員の年齢及び在職年数

(1) 消防団員の年齢

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

市町別	年齢							
	20歳未満	20歳 ～ 25歳	26歳 ～ 31歳	32歳 ～ 37歳	38歳 ～ 43歳	44歳 ～ 49歳	50歳以上	計
曾 於 市	1	24	117	113	96	106	145	602
志 布 志 市		15	49	84	86	76	143	453
曾於郡大崎町	5	9	40	54	36	26	63	233
合 計	6	48	206	251	218	208	351	1,288

(2) 消防団員の在職年数

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

市町別	年数							
	5年未満	5年 ～ 10年未満	10年 ～ 15年未満	15年 ～ 20年未満	20年 ～ 25年未満	25年 ～ 30年未満	30年以上	計
曾 於 市	164	146	97	101	57	24	13	602
志 布 志 市	117	107	77	50	55	31	16	453
曾於郡大崎町	93	34	35	23	13	19	16	233
合 計	374	287	209	174	125	74	45	1,288

3. 消防団員の報酬及び費用弁償

単位：円 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

区分 市町別	団長	方面 隊長格 副団長	副団長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	機関員 その他	出動 手当
曾於市	186,300	176,900	119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	タ・ポ 5,000 積 4,000 小 3,000 ラ 4,000	5,100
志布志市	195,600	186,300	119,100	107,200	63,000	53,100	53,100	47,200	機 9,000 ラ 4,300	5,100
曾於郡 大崎町	186,300		119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	機 6,000 ラ 4,200	5,100

タ：タンク車，ポ：ポンプ車，積：積載車，小：小型動力ポンプ，ラ：ラッパ隊，機：機関員

4. 消 防 水 利

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

種別 市町別	消 火 栓		防 火 水 槽			プール その他
	公 設	私 設	20 m ³ ～ 39 m ³	40 m ³ ～ 99 m ³	100 m ³ 以上	
曾 於 市	469		950	239	1	145
志 布 志 市	588		410	124		22
曾於郡大崎町	232		231	94		14
合 計	1,289		1,591	457	1	181

5. 消防団支援状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

区分 署・分署別	曾於消防署	志布志消防署	財部分署	計
ポンプ操法				
規律訓練	2	2	7	11
団教養				
出初式支援	3	2	1	6
消防記念日				
団合同訓練	2	2	1	5
計	7	6	9	22

平成25年版 消防年報

編集発行 〒899-8102

鹿児島県曾於市大隅町岩川5950番地

大隅曾於地区消防組合 消防本部総務課

代 表 099(482)0119

総務課 099(482)0569

F A X 099(482)2712

E-mail fdsoh-s3@po3.synapse.ne.jp